

テレビ視聴とメディア利用の現在 (1)

～「日本人とテレビ・2010」調査から～

世論調査部 (視聴者調査) 諸藤絵美 / 平田明裕
(調査システム) 荒牧 央

1. はじめに

NHK放送文化研究所では2010年3月、「日本人とテレビ・2010」調査を実施した。この調査はテレビに関する人びとの意識や行動について定期的に測定することを目的として、1985 (昭和60) 年から5年ごとに行っている全国世論調査である。今回は6回目の調査になり、テレビ視聴について行動面からだけでなく、意識の面からも長期的な変化をとらえることができる。

「日本人とテレビ」の1回目の調査が行われた1985年は、テレビの視聴時間の減少が問題になっていた時期であり、視聴時間減少の背景にある意識を把握することも当初の目的の1つであった。しかし1980年代後半にはテレビ視聴時間は増加に転じ、現在もテレビが長時間見られる傾向が続いている。一方で衛星放送、CATVによる多チャンネル化や近年のインターネットの普及など、テレビを含めたメディアの状況も調査を始めた25年前から大きく変化した。こうしたことから、今回の2010年の調査では、質問項目を全体的に見直している。

また調査票の変更を機に、調査方法についても従来の個人面接法から比較的高い有効率

が見込める配付回収法に切り替えた。ただし調査方法を変えることで過去との比較ができなくなるため、今回は時系列比較を目的に従来と同じ質問文による個人面接法の調査も規模を縮小 (1,800人) して実施した。したがって2010年の調査では配付回収法と個人面接法の調査を並行して実施しており、時系列比較の際は個人面接法のデータを使用している。

両調査の概要は次のとおりである。

〔配付回収法〕 (今回から)

調査時期 2010年3月6日 (土) ～14日 (日)

調査方法 配付回収法

調査相手 全国の16歳以上の国民3,600人

調査有効数 (率) 2,710人 (75.3%)

〔個人面接法〕 (時系列比較用)

調査時期 2010年3月6日 (土)・7日 (日)

調査方法 個人面接法

調査相手 全国の16歳以上の国民1,800人

調査有効数 (率) 1,046人 (58.1%)

調査内容はいずれの調査も、①テレビに関する行動と意識、②テレビを含めた各メディアに関する行動と意識、の2つに大別できる。そこで今回の報告では、①の質問を分析し、テ

テレビ視聴行動やテレビに対する評価がどう変化しており、現状ではどのようなになっているかを報告する。結果は時系列比較を中心に報告するが、今回から実施した配付回収法の質問も、必要に応じて取り上げたい。以下、本文・図表において特に断りのない場合は個人面接法調査のデータであり、配付回収法調査のデータを用いる場合にはその旨を明記した。次回の報告(10月号を予定)では②の質問から、他のメディアとの関係を通してみえてくるテレビの位置づけについて報告をする予定である。

文末(15～29ページ)には個人面接法の調査の質問文と単純集計結果、サンプル構成を掲載した。配付回収法の単純集計結果等についてはページ数の都合上、次回の報告時に掲載する。

なお、個人面接法調査で25年間のサンプル構成の変化をみておくと、1985年には16～29歳の構成比は21%、30代は24%であったが、2010年にはそれぞれ12%、16%へと減少している。一方、60代は10%から20%に、70歳以上も8%から21%に増加しており、サンプルにおける高年層の割合が高くなっている。

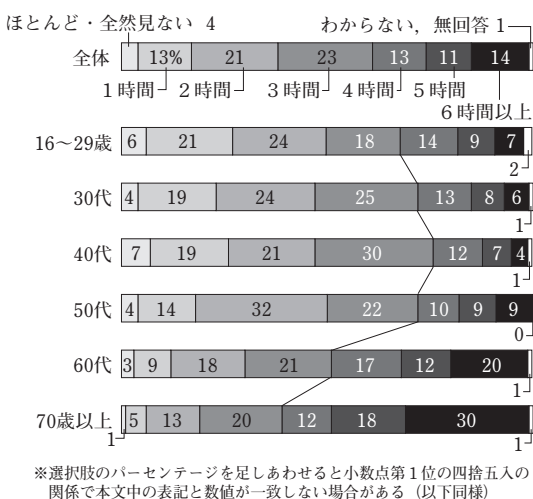
2. テレビの見方

テレビ視聴の長時間化

休日を除くふだんの日に、1日にテレビを何時間ぐらい視聴しているかを尋ねたところ、「2時間」「3時間」の人が多く、長時間視聴といえる「4時間」以上の人は38%である(図1)。「4時間」以上という人は、年層別にみると60代以上で多く、特に70歳以上では61%にのぼっている。

1985年以降の視聴時間の推移をみると、「4

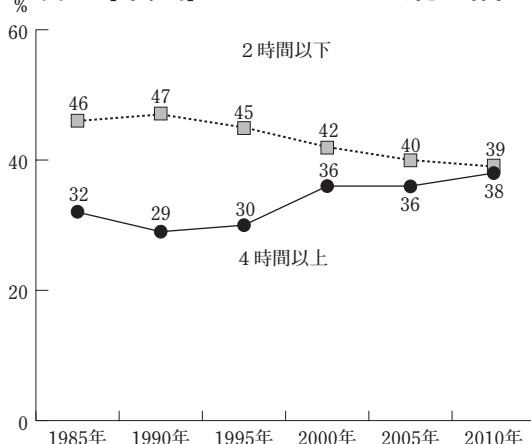
図1 ふだん1日にテレビを見る時間(全体・年層別)



時間」以上の人は、1985年～1995年は30%前後であったものが、2000年以降は36～38%となっており、全体としてテレビ視聴は長時間化している(図2)。また、70歳以上では、この25年間で49%から61%に増加している。

60代以上がサンプル全体に占める割合が大きく増加していること(1985年:18%→2010年:40%)を考え合わせると、テレビ視聴の長時間化の要因として、社会全体の高齢化と、高齢者での視聴時間の増加をあげることができよう。

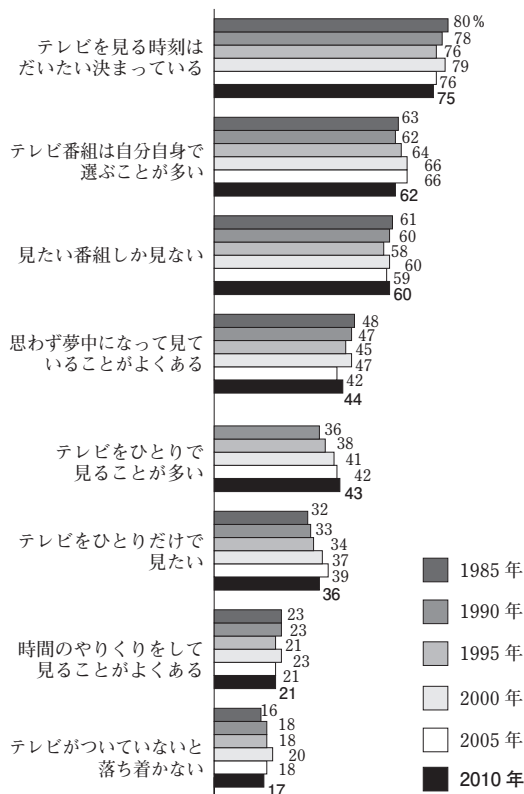
図2 [時系列] ふだん1日にテレビを見る時間



見る時刻や番組が決まっている人が多数派

本調査では、見る時刻や番組、テレビへの興味の持ち方など、多様な側面からテレビの見方を尋ねている(図3)。

図3 [時系列] テレビの見方



「テレビを見る時刻はだいたい決まっている」(75%)、「テレビ番組は自分自身で選ぶことが多い」(62%)、「見たい番組しか見ない」(60%)はいずれも6割を超えていて、見る時刻や番組が決まっている人が多数派である。

また、テレビへの興味の持ち方についてみると「時間のやりくりをして見ることがよくある」人は2割程度であるが、「思わず夢中になって見ることがよくある」という人は4割程度である。テレビとは、わざわざ時間を作ってまで見ることは少ないが、思わず夢中になること

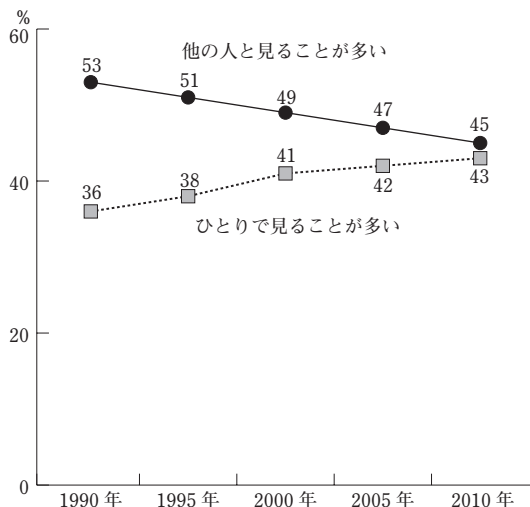
はあるという存在なのだろう。こうした状況は6回の調査ではほぼ変わらない。

進むテレビ視聴の個人化

「テレビ視聴の50年」(2003年)¹⁾に「個人視聴」について以下のような記述がある。「テレビが一家に1台のときは、茶の間に置かれたテレビを家族そろって見ていた。(中略) テレビは『ほかの人と一緒に見るほう』が現在でも多数派である。しかし、80年代に入ると『1人だけで見るほう』という人が増加し4割近くになっている。」と個人視聴が進んだことを述べた上で、「テレビの複数台所有のほか、家族人数の減少や1人暮らしの増加、個室の増加など居住条件が影響」しているとまとめている。

この調査でも、質問文は異なるが1990年から個人視聴の実態を尋ねている(図4)。この20年で「他の人と見ることが多い」が減り(1990年:53%→2010年:45%)、「ひとりで見ることが多い」が増えて(1990年:36%→2010年:43%)、現在は両方の数字が並んでいる。家族人数が少ないほうが個人視聴は多いと考え

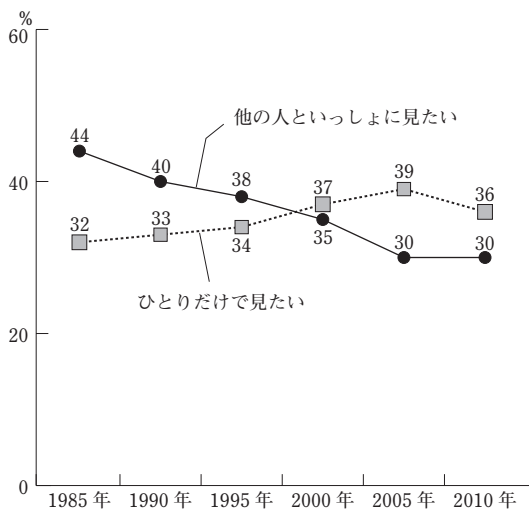
図4 [時系列] ひとりだけで見るか



られるが、今回の調査結果をみると家族人数は「4人」以上が減少していて、家族人数の減少が、個人視聴の増加に影響していることがうかがえる。

また、「テレビはひとりだけで見たいほうか他の人といっしょに見たいほうか」という個人視聴の希望についてしてみると、1985年当初は「他の人といっしょに見たい」が「ひとりだけで見たい」を上回っていた。その後「ひとりだけで見たい」は増加し続けて2005年に逆転し、今回も変わらない(図5)。年層別にみると、70歳以上で「ひとりだけで見たい」は増加している(1985年:36%→2010年:49%)。つまり、個人視聴の広がり、家族人数の減少とともに、高年層を中心とした意識の変化も関係している。

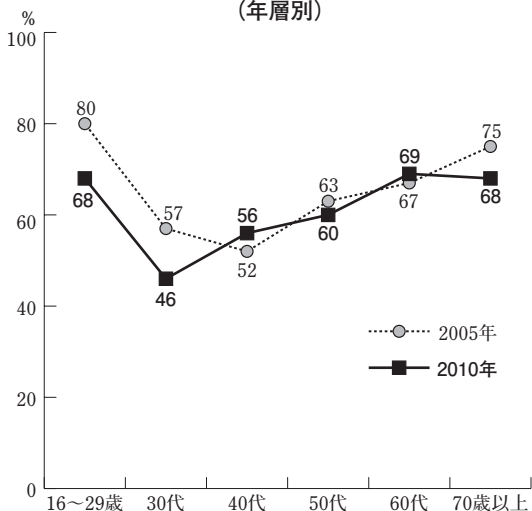
図5 [時系列] ひとりだけで見たいか



若年層でテレビの見方に変化

図3でこの5年間の動きに着目すると、変化があった項目は「テレビ番組は自分自身で選ぶことが多い」で、年層別にみると、16～29歳では80%から68%、30代では57%から46%と、30代以下で減少している(図6)。

図6 [時系列] テレビ番組は自分自身で選ぶことが多い(年層別)



他の項目でも、「テレビがついていないと落ち着かない」は、16～29歳ではこの5年間で22%から10%とかなり減少している。また、図表にはないが、「家に帰ると、とりあえずテレビをつける」について「よくある」「ときどきある」「ほとんどない」と頻度を尋ねたところ、「ほとんどない」は、16～29歳で20%から29%に増加している。

一方、16～29歳の「家族人数」をみると、「1人」という人はこの5年間でむしろ増えている(4%→10%)。つまり、この年代では1人暮らしの人が若干増加しているにもかかわらず、この5年間で「自分で見る番組を選ぶ」人や、「テレビがついていないと落ち着かない」という人は減少しており、若年層にとってテレビの存在感が低下していることがうかがえる。

番組を「新聞を見て選ぶ」人が減少

2000年から、番組選択の方法について尋ねているが、ふだんテレビを見る時、番組をどのように選んでいるか、最も多いものをひとつだけ選んでもらった。「新聞のテレビ欄を見て

選ぶ」は今も半数程度はいるが2000年から減少しており(60%→56%→49%)、「リモコンで探して選ぶ」は増加している(14%→17%→24%)。この傾向は50代以下の年層に共通しており、新聞など他メディアのテレビ欄を参考にするというよりは“リモコンで”という選択方法が幅広い年代に広がっている。

時系列調査と並行して実施した配付回収法の調査では「EPG(電子番組ガイド)を見て選ぶ」という選択肢を追加したので、参考に紹介したい(表1)。時系列調査と同様、多いのは新聞とリモコンで、「新聞のテレビ欄を見て選ぶ」(50%)、「リモコンでチャンネルを替えながら選ぶ」(18%)、「EPG(電子番組ガイド)を見て選ぶ」(7%)であった。そのほか「情報誌のテレビ欄」(3%)、「インターネットのテレビ欄」(1%)など、新聞以外のテレビ欄を見て選ぶ人はわずかである。男女年層別にみると、男女30代以下では全体に比べて「新聞のテレビ欄を見て選ぶ」の率が低く、「EPGを見て選ぶ」や「リモコンでチャンネルを替えながら選ぶ」が高くなっている。

3. テレビに対する意識

一部で低下したテレビの効用

テレビがあることで、生活にどのような効用(役立ち方、有用性)がもたらされていると思うかについては「さまざまな意見や考えが理解できる」(75%)「毎日の生活に欠かせない情報が得られる」(73%)など情報入手面や、「人とつきあう時の話のタネが得られる」(75%)「家族の団らんに役に立つ」(65%)といったコミュニケーション面での効用が広く認められている(図7)。

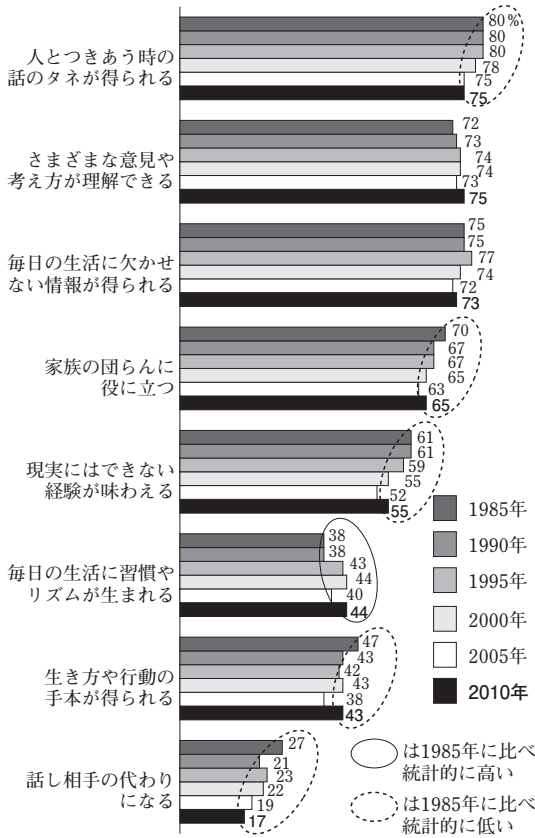
この25年でみると、「さまざまな意見や考え方が理解できる」など情報入手面では7割以上の人に変わらず評価されているが、他の項目では低下しているものがみられる。低下したのは「人とつきあう時の話のタネが得られる」「家族の団らんに役に立つ」などのコミュニケーション面や「現実にはできない経験が味わえる」「話し相手の代わりになる」など、テレビが自分の“経験”や“話し相手”になるといった代用面での評価である。ただし、これらはいずれも1995年から2005年にかけての変化で、この5

表1 番組の選択方法(男女年層別・配付回収法)

	全体	男						女						(%)
		16~29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	16~29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
新聞のテレビ欄を見て選ぶ	50	35	36	42	63	62	68	38	36	51	55	60	55	
情報誌のテレビ欄を見て選ぶ	3	4	2	5	3	2	2	3	5	3	0	2	2	
インターネットのテレビ欄を見て選ぶ	1	1	3	3	1	1	1	3	1	0	1	0	0	
EPG(電子番組ガイド)を見て選ぶ	7	12	17	9	7	3	1	7	17	8	3	3	0	
リモコンでチャンネルを替えながら選ぶ	18	29	25	23	14	14	10	26	21	14	15	13	14	
いつも見る番組なので、特に選ぶことはない	14	13	11	11	8	14	16	17	8	15	16	18	19	
家族の選んだ番組を見る	6	4	6	7	4	4	3	6	13	9	9	3	9	
サンプル数	(2,710人)	(214)	(236)	(213)	(192)	(236)	(189)	(218)	(222)	(232)	(234)	(279)	(245)	

■は全体に比べ統計的に高いことを示す(以下同様)
 ()内は各層のサンプル数。表2、3も同じサンプル数。

図7 [時系列] テレビの効用



年で急に低下したのではない。

一方、「毎日の生活に習慣やリズムが生まれる」は増加している。年層別にみると、30代から50代で増加していて、この年代では5割程度の人が、テレビを“時計がわり”とする様子が見える。

なお、テレビの効用に関し、配付回収法の調査では項目を部分的に変更し、「今起きている大きな事件やイベントが見られる」を加えたところ、この面で効用を感じている人（「どちらかといえば」も含む）は90%で、「さまざまな意見や考え方を知ることができる」（81%）「毎日の生活に欠かせない情報が得られる」（78%）を上回っている。つまり、ほとんどの人が“今起きていることが見られる”というテレビの強みを

を認めている。例えば、調査直前の2月のバンクーバー・オリンピックでは、女子フィギュアスケートの浅田真央とキム・ヨナの演技に、日本中が釘付けとなったことは記憶に新しい。多数の人が今起きていることを同時に“見る”経験を共有した結果、“一体感”が得られることも、テレビの大きな社会的機能といえよう。

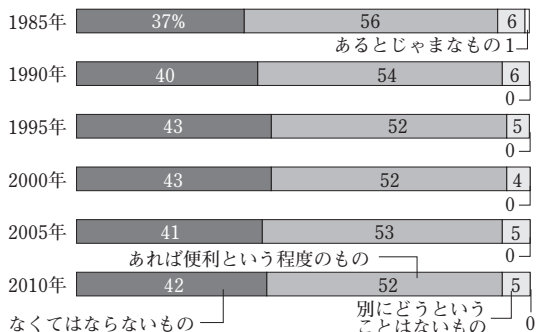
半数の人が、テレビは「あれば便利なもの」

時系列調査では、NHKと民放を含めたテレビに対する全体的な評価として、テレビの「重要度」と「満足度」を尋ねている。

まずテレビの「重要度」では、1985年から1995年にかけて「なくてはならないもの」が37%から43%に増加し、「あれば便利という程度のもの」は56%から52%に減少した（図8）。1985年ごろに初めて遭遇したテレビ視聴時間の減少に対し“テレビ離れ”という言葉が使われた²⁾が、視聴時間の増加³⁾に伴い、テレビの位置づけが回復している。それ以降は変化がなく、今回の結果でも半数程度の人が「便利という程度」としてとらえている。

年層別にみると、16～29歳では「あれば便利という程度のもの」が71%で、全体（52%）に比べてかなり高く、25年間でその傾向は変わらない。

図8 [時系列] テレビの重要度

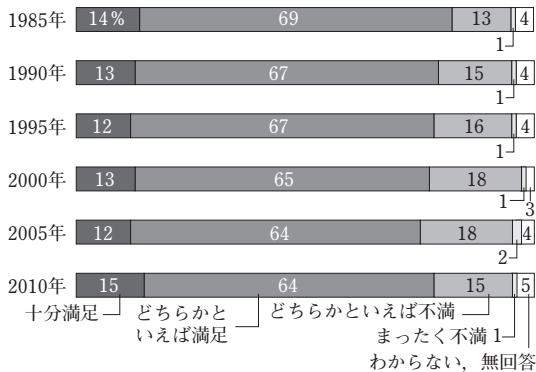


25年前に比べてテレビの「満足度」は低下

次に、現在のテレビに、どの程度満足しているか、満足度を時系列にみても、「(十分+どちらかといえば)満足」という人は、最も低いときでも8割弱で、大多数の人が「満足」派である(図9)。ただし、2005年まで減少傾向だった「満足」は今回は下げ止まったものの、1985年と比べると減少している。年層別にみると、1985年に比べて50代以上で「(どちらかといえば+まったく)不満」という人が増加しており、全体の結果に影響している(図10)。

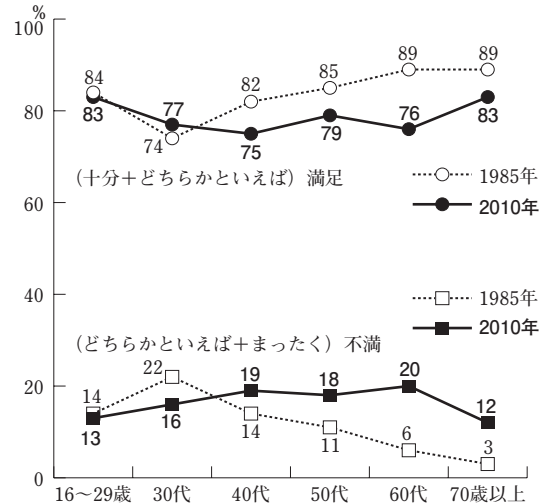
図表は省略したが、「十分、満足」だけのみ

図9 [時系列] テレビ満足・不満



るとその傾向がより顕著で、50代以上は25年間で減少している(50代:19%→9%, 60代:22%→10%, 70歳以上:32%→19%)。

図10 [時系列] テレビ満足・不満(年層別)



若年層で放送時間に縛られることを嫌う人も

配付回収法の調査では、表2のようにテレビに対する意識(8項目)を新たに質問した。若年層(16~29歳)に注目してみると、男女で共通しているのは「好きな番組でも毎回決まった時間に見るのは面倒だ」「テレビを見たあと、

表2 テレビに対する意識「あてはまる+まああてはまる」(男女年層別・配付回収法)

	全体	男						女					
		16~29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	16~29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上
テレビを見るのが大好きだ	68	73	68	74	69	66	65	71	64	69	62	66	70
見たかった番組を見逃すと、とても残念に思う	62	66	61	69	57	51	54	76	69	66	63	58	51
話題になっている番組は見たいと思う	53	43	44	47	51	53	65	51	51	53	53	59	65
テレビがついていると何となく安心できる	51	59	54	61	49	45	41	56	45	54	52	43	55
テレビを見たあと、前向きな気持ちになることがよくある	44	39	34	38	37	38	50	47	49	46	46	51	53
好きな番組でも、毎回決まった時間に見るのは面倒だ	34	39	41	41	33	35	21	42	44	41	27	20	24
どこにいても、好きなときにテレビを見たい	29	38	36	37	25	29	30	35	24	26	24	17	34
テレビを見たあと、時間をむだにしてしまったと思うことがよくある	22	33	20	25	19	11	15	30	28	28	23	20	14

時間をむだにしてしまったと思うことがよくある」が全体より高く、放送時間に縛られることを嫌い、時間効率を重視する傾向がみられる。その一方で、全体に比べて「どこにいても、好きなときにテレビは見たい」も高く、若年層では自分が見たいときにはどこであっても見たいという価値観も持ち合わせている。

なお、8項目の中で、「あてはまる」「まああてはまる」の割合がもっとも高いのは「テレビを見るのが大好きだ」で、男女年層別にみてもどの層も6割を超えている。「テレビ視聴」を好む態度はどの年代でも共通しているようである。

若い年代ではテレビの受け止め方に变化

ここまでの結果をまとめると、テレビ視聴は長時間化しているものの、この25年間で、テレビの重要度や満足度については全体では大きな変化はみられなかった。ただ、年層別にみると、テレビの受け止め方にも変化がみられた。50代以上では重要度に変化はないが、テレビに対する満足度は低下している。一方、若年層では、「あれば便利という程度」という位置づけの人が全体より多いことは変わらない

が、「十分、満足」という人はこの25年で増加している(16～29歳:9%→21%)。先に述べたように、若年層ではテレビの見方の面で、やや存在感が低下しているようにもみえるが、テレビは「軽い存在」でありながらも、「十分満足している」という一見相反する価値観が、若い人には共存しているといえる。

若年層では番組に“出演”してみたい人も

これまでにしたことがあるかないかにかかわらず、テレビ局に向けて、今後してみたいことがあるか、いくつでも選択してもらった。「特にない」(58%)がかなりの割合を占めたが、具体的な項目の中では「公開番組をスタジオやホールで見る」(21%)が多かった。「番組に自分の意見や感想を伝える」「生放送中にクイズやアンケートに参加する」「ニュースや番組の素材を知らせる」は1割程度で、「自分が番組に出演する」(3%)などは少数派である。

男女年層別の結果をみると、参加してみたいと思う内容に差がみられた(表3)。「公開番組をスタジオやホールで見る」「生放送中にクイズやアンケートに参加する」は、女30代以下では

表3 テレビ参加意欲(複数回答)(男女年層別・配付回収法)

	全体	男						女						(%)
		16～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	16～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
公開番組をスタジオやホールで見る	21	15	21	20	11	16	19	31	31	25	25	24	12	
番組に自分の意見や感想を伝える	12	11	10	13	13	15	18	14	12	14	12	12	9	
生放送中にクイズやアンケートに参加する	12	14	13	12	9	5	6	23	22	12	13	9	6	
ニュースや番組の素材を知らせる	10	8	9	7	14	17	23	3	6	6	7	9	12	
自分が番組に出演する	3	11	3	5	2	1	1	6	3	3	2	1	1	
番組に自分の作品を送る	3	6	3	1	2	3	2	5	2	3	1	1	4	
自分が番組を制作し、放送してもらう	2	6	2	3	3	0	1	3	1	2	0	0	1	
その他	1	2	1	2	4	1	1	1	0	1	1	1	0	
特になし	58	59	58	62	63	60	55	51	50	55	57	59	66	

全体に比べて高く、“テレビに参加して楽しみたい”という人が多いことがよみとれる。また、男70歳以上では「番組に意見や感想を伝える」「ニュースや番組の素材を知らせる」が全体より高く、“意見”や“情報”を伝えることを通じて参加してみたいという傾向がみられる。さらに、16～29歳は男女ともに「番組に出演する」「自分の作品を送る」などが全体に比べて高く、少数派であるが“出演”や“作品”を通じて番組に参加してみたいという意欲はみられる。

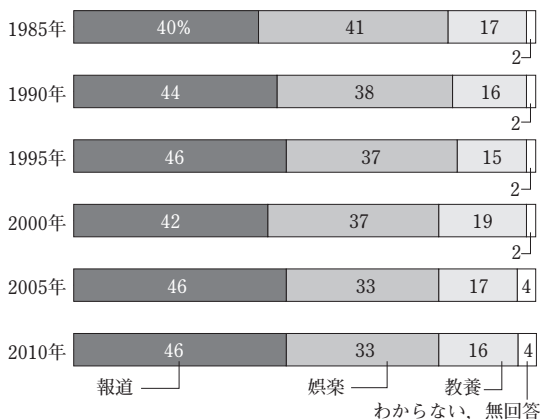
4. 番組の嗜好

いちばん放送してもらいたいものは「報道」

ここからは、番組に対する意識や実態について試みる。

「くつろいで楽しめる番組」(娯楽)、「世の中の出来事や動きを伝える番組」(報道)、「知識や教養を身につけるのに役立つ番組」(教養)の3つのなかからいちばん多く放送して欲しいものをひとつだけ選んでもらった。全体では大まかにいって「報道」「娯楽」が二分しているが、「報道」をあげる人が46%で最も多い(図11)。「報

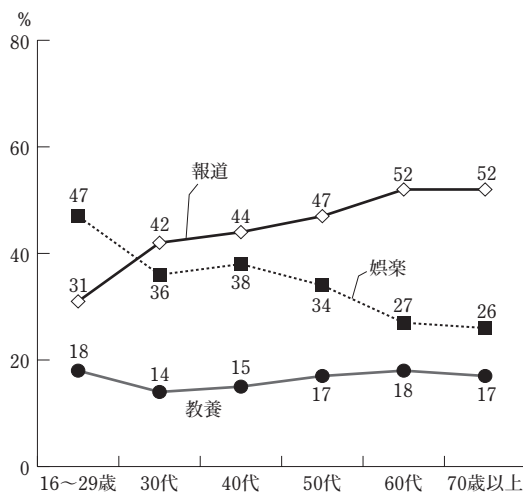
図11 [時系列] いちばん多く放送して欲しい番組



道」をあげる人は、1985年から1995年にかけて増加した後、2000年にいったん減少したが2005年に再び増加し、今回は変化がなかった。

年層別にみると、「報道」をあげる人は、年齢が高いほど多く、「娯楽」は逆に年齢が若いほど多い。「教養」については年層による差はない(図12)。

図12 いちばん多く放送して欲しい番組(年層別)



女性若年層は“気楽に”楽しめる番組を好む

配付回収法の調査では、「いちばん多く放送してほしい番組」に加えて、どういった感じの番組が好きか、甲、乙に分けるとどちらに近いかを答えてもらった。

甲：気楽に楽しめる番組

乙：じっくり見ごたえのある番組

図表にはないが、「甲に近い(+「どちらかといえば」)」は59%に対し、「乙に近い(+「どちらかといえば」)」は39%で、「気楽に楽しめる番組」を好む人が多い。

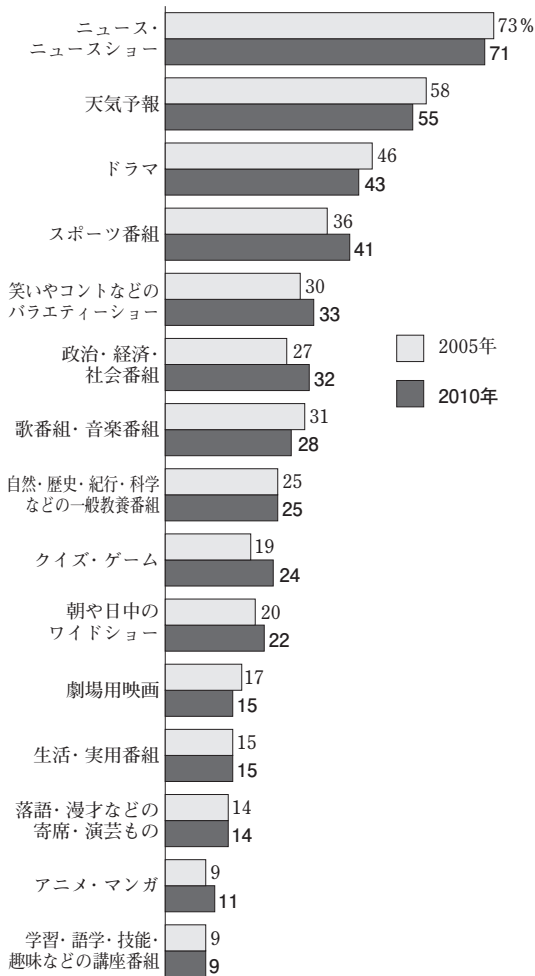
男女年層別では、「気楽に楽しめる番組」派は、全体に比べ女16～29歳(70%)、女30代(72%)で高い。

「政治・経済・社会番組」をよく見る人が増加

ふだんよく見る番組を15項目のなかからいくつでも選んでもらったところ、「ニュース・ニュースショー」(71%)、「天気予報」(55%)、「ドラマ」(43%)の順で、この順位は過去5回の調査とも変わらない。

よく見る番組の回答には、調査時の編成、そして調査直前の事件やイベントの影響する面もあること、また、1985年当時に設定した分類にあてはまらない番組が増えていることも、考慮する必要がある。

図13 [時系列] よく見る番組種目(複数回答)



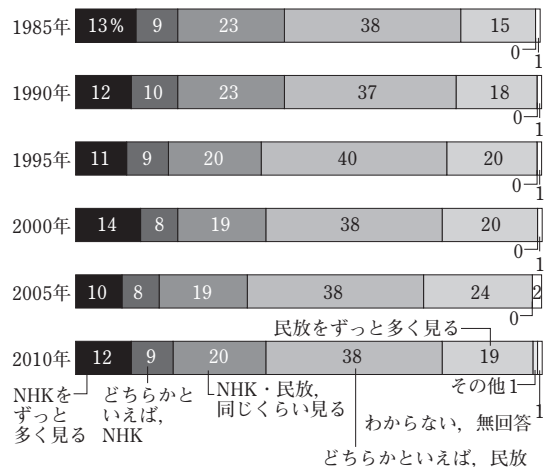
その上で2005年から2010年にかけての変化に着目してみると、この5年で増加しているのは「政治・経済・社会番組」「クイズ・ゲーム」「スポーツ番組」である(図13)。特に、「政治・経済・社会番組」は2000年から2005年も増加している(24%→27%)。2001年の小泉政権誕生以降、2009年の政権交代など、人びとの注目が政治に集まったことも一因かもしれない。

5. NHKと民放

「NHKを多く見る」人が2000年レベルに

ここからはNHKと民放に分けて視聴実態や評価をみていく。NHKと民放のどちらを多く見ているかについては、「NHKを多く見る(ずっと+どちらかといえば)」人は22%であった(図14)。この10年の変化に着目すると、2000年(22%)から2005年(18%)にかけて減少したが、今回は増加し2000年の水準まで回復している。一方、「民放を多く見る(ずっと+どちらかといえば)」人は57%で2005年(62%)より減少し、2000年(58%)と同程度になった。

図14 [時系列] NHKと民放のどちらを多く見るか

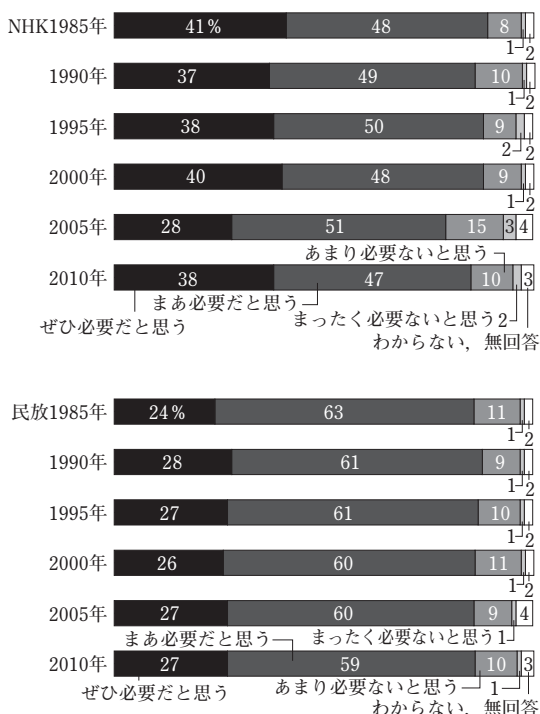


回復したNHKの「必要性」

NHKと民放の必要性については、NHKを「ぜひ必要だと思う」人は38%であった(図15)。「ぜひ必要だと思う」人は、NHKの不祥事に厳しい批判が集まっていた2005年は28%で、2000年の40%から大きく減少したが、今回は増加し、不祥事前の2000年の水準に戻った。年層別にみると、2000年から2005年にかけてすべての年層で減少し、今回、40代以下では2000年レベルまで回復した。一方、民放については「ぜひ必要だと思う」人が1985年(24%)から1990年(28%)にかけて増加したが、90年以降は変化がない。また、「必要(ぜひ+まあ必要)」と回答した人の割合は1985年当初から変化がない。

NHK、民放のいずれも9割弱のほとんどの人が「必要(ぜひ+まあ必要)」と答えており、

図15 [時系列] NHKと民放の必要性



両者の必要性は広く認められていることがうかがえる。

NHKの側面別評価も回復傾向

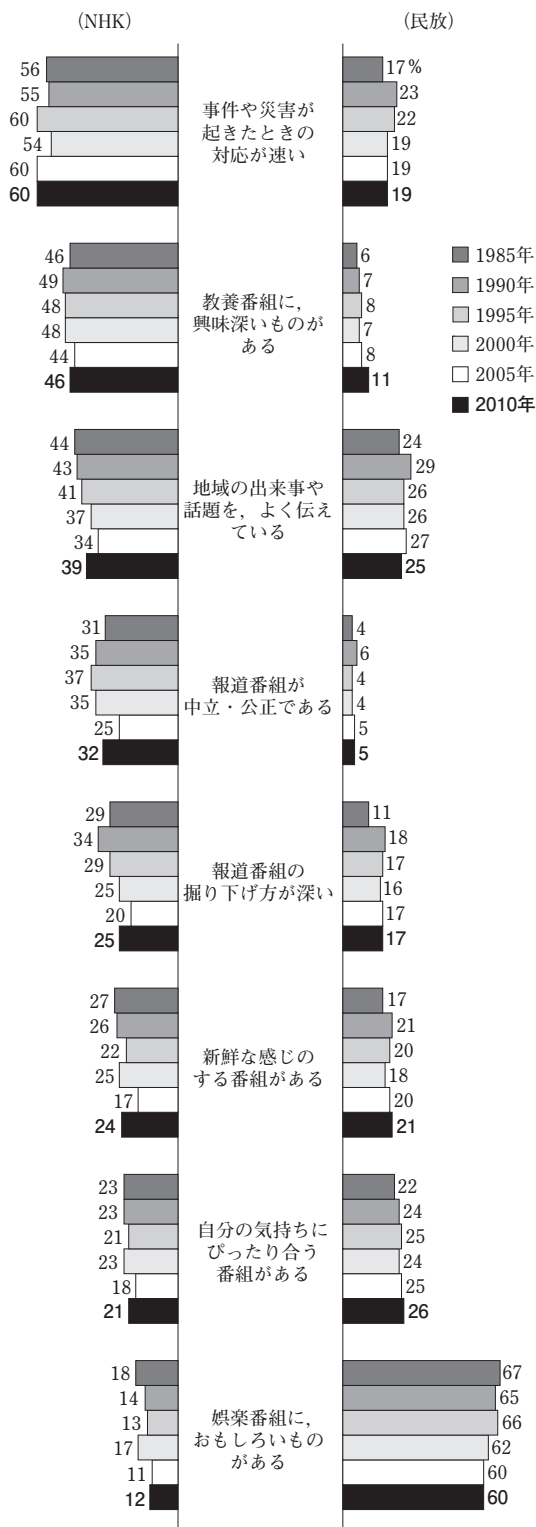
図16は最近のNHKと民放について、あてはまるものをいくつでも選んでもらった結果である。NHKに対する評価が高いのは「事件や災害が起きたときの対応が速い」(60%)や「教養番組に、興味深いものがある」(46%)である。一方、民放では「娯楽番組に、おもしろいものがある」(60%)が最も多い。NHKでは報道・教養番組、民放では娯楽番組を評価する人が多く、この傾向はこれまでと変わっていない。

1985年の結果と比べると、NHKの評価で増加したのは「事件や災害が起きたときの対応が速い」(56%→60%)であった。一方、「娯楽番組に、おもしろいものがある」(18%→12%)などが減少している。民放の評価では、「自分の気持ちにぴったり合う番組がある」(22%→26%)などが増加している一方で、「娯楽番組に、おもしろいものがある」(67%→60%)が減少している。

NHKと民放の評価の長期的推移をみると、NHK、民放のいずれも、娯楽番組に対する評価が減少傾向にある。先ほど述べたように(図11)、「娯楽」「報道」「教養」の3つの中からいちばん多く放送して欲しいものをひとつ選んでもらった結果でも、「娯楽」は1985年から減少傾向(41%→33%)となっている。民放では60%以上の人々が評価をしているが、人びとの娯楽番組への評価の低下が、娯楽番組への期待の減少につながっているのかもしれない。

「報道番組の掘り下げ方が深い」は、NHKでは減少(29%→25%)する一方で、民放で

図 16 [時系列] NHKと民放の評価 (複数回答)



増加(11%→17%)し、「教養番組に、興味深いものがある」も民放で増加(6%→11%)している。報道番組や教養番組に対する評価が、NHKとの差は大きいものの民放が高まっている様子が見えてくる。

「NHKを多く見る」人も、「NHKをぜひ必要だと思う」人も今回は2000年の水準に戻ったが、NHKの評価についてはどうだろうか。2005年には、「事件や災害が起きたときの対応が速い」を除くすべての項目で減少したが、今回は、「地域の出来事や話題を、よく伝えている」などの5項目が増加し、いずれも2000年と同程度に戻っている。

「NHKを多く見る」という実態と「NHKの必要性」と「NHKの評価」という意識を1985年からの長期的推移でみてみると、動向が同じであることがわかる。特に2000年から2010年までのこの10年に大きな変化があったときでも同じような動きをしており、人びとのNHKに対する視聴行動とNHKに対する視聴意識には関連性があるということを示しているといえよう。

「民放型」でも評価が高い

NHKの「事件・災害の対応」

ふだんよく視聴する局によってNHK、民放の評価は違っているのだろうか。調査相手をNHK型(NHKをずっと多く見る+どちらかといえばNHKを多く見る)、中間型(NHK、民放、同じくらい見る)、民放型(民放をずっと多く見る+どちらかといえば民放を多く見る)の3つの視聴局タイプに分け、これらの視聴局タイプ別でNHKの評価をみてみた(図17)。NHK型・中間型の人では、ほとんどの項目で、民放型に比べて、評価が高い。特に「自分の気持ちにぴったり合う番組がある」や「娯楽番組に、

図 17 視聴局タイプ別のNHKの評価(複数回答)

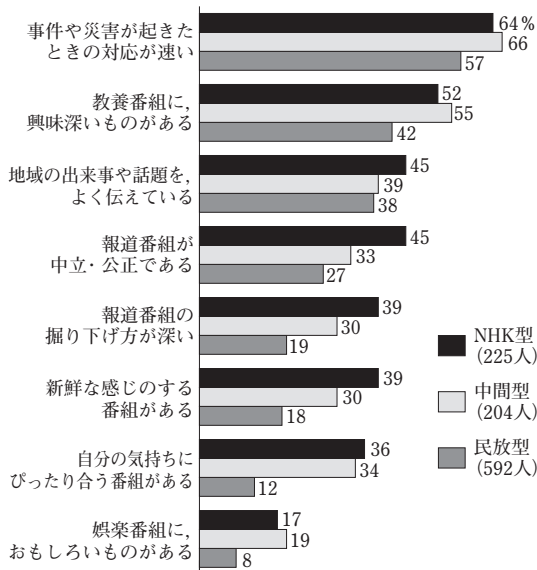
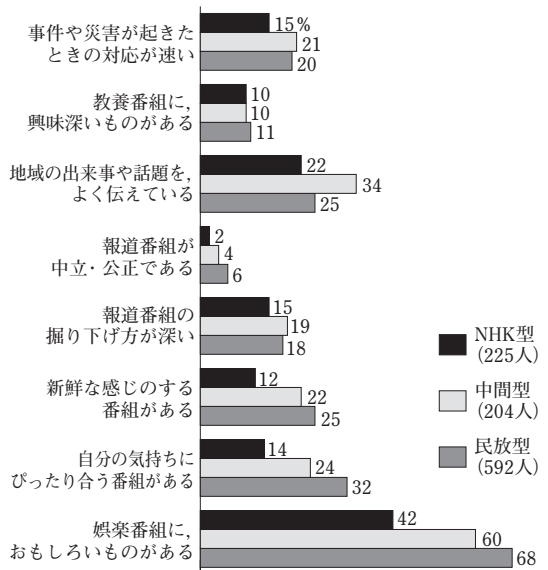


図 18 視聴局タイプ別の民放の評価(複数回答)



おもしろいものがある」で差が顕著にあらわれている。その一方で、ふだんNHKをあまり見ない民放型でも「事件や災害が起きたときの対応が速い」については半数以上(57%)の人が評価している。

民放型のNHK評価を1985年と比較すると、「事件や災害が起きたときの対応が速い」が増加(51%→57%)している。ふだん「NHKより民放を多く見る(ずっと+どちらかといえば)人の中でも、「いざというときのNHK」という意識が浸透してきている様子が見えてくる。

図18は、民放の評価について同様に視聴局タイプ別にみた結果である。民放型・中間型の人は、NHK型に比べて「娯楽番組に、おもしろいものがある」「自分の気持ちにぴったり合う番組がある」「新鮮な感じのする番組がある」の項目で、評価が高い。このうち「娯楽番組に、おもしろいものがある」と「自分の気持ちにぴったり合う番組がある」の2項目はNHKへの評価でも差が顕著であり、視聴局を選ぶときのポ

イントとなっていると考えられる。

これまでみてきたように、テレビの視聴時間は増加傾向であっても、重要度、満足度、効用といったテレビの評価が高くなっていくわけではない。NHKに関しては、「NHKを多く見る」人やNHKを「ぜひ必要だと思う」人は今回増加し、2000年のレベルに回復していることが明らかになった。次回は、さまざまなメディアの中でテレビがどのように位置づけられているかについてみていきたい。

(もろふじ えみ/ひらた あきひろ/あらまき ひろし)

注：

- 1) NHK 放送文化研究所編『テレビ視聴の50年』(NHK 出版) p.123, p.125
- 2) 同上, p.151
- 3) NHK 国民生活時間調査によると、1日のテレビ視聴時間は、1985年から1995年にかけて、平日平均、土曜、日曜とも増加している。それぞれのデータを紹介しますと、平日平均は2時間59分→3時間32分、土曜は3時間16分→3時間55分、日曜は3時間40分→4時間23分となっている。

「日本人とテレビ・2010」調査 単純集計結果 (1985年～2005年調査の結果を併記)

	〈第1回〉	〈第2回〉	〈第3回〉	〈第4回〉	〈第5回〉	〈第6回〉
■ 調査時期	1985年 3月9日(土) 10日(日)	1990年 3月10日(土) 11日(日)	1995年 3月11日(土) 12日(日)	2000年 3月4日(土) 5日(日)	2005年 3月5日(土) 6日(日)	2010年 3月6日(土) 7日(日)
■ 調査方法	個人面接法	個人面接法	個人面接法	個人面接法	個人面接法	個人面接法
■ 調査対象	全国16歳以上の国民	全国16歳以上の国民	全国16歳以上の国民	全国16歳以上の国民	全国16歳以上の国民	全国16歳以上の国民
■ 調査相手	住民基本台帳から 層化無作為2段抽出 3,600人(12人×300地点)	住民基本台帳から 層化無作為2段抽出 3,600人(12人×300地点)	住民基本台帳から 層化無作為2段抽出 3,600人(12人×300地点)	住民基本台帳から 層化無作為2段抽出 5,400人(12人×450地点)	住民基本台帳から 層化無作為2段抽出 3,600人(12人×300地点)	住民基本台帳から 層化無作為2段抽出 1,800人(12人×150地点)
■ 調査有効数(率)	2,632人(73.1%)	2,508人(69.7%)	2,423人(67.3%)	3,584人(66.4%)	1,920人(53.3%)	1,046人(58.1%)

注1 ><は、前回の比率との検定結果。>は前回より低い、<は高いことを示す。

注2 >><<は85年(または1番最初の年)と2010年の比率の検定結果。>>は2010年が85年より低く、<<は高いことを示す。

一テレビ視聴時間量一

第1問 あなたは、休日を除くふだんの日に、1日にテレビを何時間ぐらいご覧になっていますか。

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. 1時間ぐらい	16.4	15.8	15.9	> 13.1	12.5	13.4% >>
2. 2時間ぐらい	27.1	28.7	26.5	25.5	23.2	21.1 >>
3. 3時間ぐらい	22.3	23.4	24.7	22.6	23.9	22.7
4. 4時間ぐらい	12.8	12.4	12.7	13.5	13.6	12.9
5. 5時間ぐらい	9.8	8.9	9.1	10.3	11.1	11.1
6. 6時間ぐらい	4.2	> 2.9	3.1	< 4.4	4.2	5.5
7. 7時間ぐらい	1.3	1.3	1.0	< 1.8	1.2	1.4
8. 8時間ぐらい	1.1	1.0	1.3	1.6	2.3	2.1 <<
9. 9時間以上	2.4	3.0	2.9	< 3.9	3.9	5.0 <<
10. ほとんど・全然見ない	2.5	2.6	2.3	3.0	3.8	4.1 <<
11. わからない、無回答	0.2	0.2	0.4	0.4	0.2	< 0.7 <<

一NHKか民放か一

第2問 あなたは、NHKの番組と民放の番組のどちらを多く見ていますか。リスト1の中からひとつだけお答えください。

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. NHKのほうをずっと多く見る	12.9	11.6	10.6	< 13.9	> 10.4	12.3%
2. どちらかといえば、NHKのほうを多く見る	9.2	9.6	8.8	8.2	7.6	9.2
3. NHK, 民放, 同じくらい見る	23.3	23.3	> 19.5	19.2	18.7	19.5 >>
4. どちらかといえば、民放のほうを多く見る	38.1	37.0	< 40.3	> 37.7	37.7	37.6
5. 民放のほうをずっと多く見る	15.3	< 17.5	< 19.8	20.0	< 24.0	> 19.0 <<
6. その他(具体的に)	0.4	0.4	0.2	0.2	0.0	< 1.3 <<
7. わからない、無回答	0.9	0.7	0.7	0.7	< 1.7	1.1

一テレビ視聴種目(MA)一

第3問 あなたは、ふだん、どんなテレビ番組をよくご覧になっていますか。リスト2の中から、いくつでもお答えください。

	85	90	95	2000	2005	2010年
ア. ニュース・ニュースショー	71.9	< 76.2	> 73.5	72.2	72.9	71.3%
イ. 天気予報	54.7	52.4	54.2	55.8	57.6	55.4
ウ. 政治・経済・社会番組	20.1	< 25.9	25.2	24.2	< 27.1	< 31.5 <<
エ. ドラマ	49.1	51.1	50.8	48.3	45.9	43.1 >>
オ. 劇場用映画	25.0	22.9	> 19.8	19.8	> 16.6	14.8 >>
カ. クイズ・ゲーム	36.3	> 33.3	> 30.3	> 16.7	18.5	< 24.2 >>
キ. 落語・漫才などの寄席・演芸もの	19.1	> 16.5	14.7	14.4	14.4	14.1 >>
ク. 笑いやコントなどのバラエティショー	20.0	21.2	< 24.4	< 29.2	29.6	32.6 <<
ケ. 歌番組・音楽番組	39.7	> 27.2	29.1	< 36.0	> 30.5	27.7 >>
コ. アニメ・マンガ	11.5	11.2	10.6	9.1	9.1	11.3
サ. スポーツ番組	40.1	40.8	42.1	> 38.4	> 35.6	< 40.8
シ. 学習・語学・技能・趣味などの講座番組	10.8	9.8	9.5	< 11.9	> 9.3	9.3
ス. 自然・歴史・紀行・科学などの一般教養番組	25.2	26.3	28.4	30.4	> 25.2	25.0
セ. 生活・実用番組	13.7	12.6	13.5	< 18.5	> 15.1	14.5
ソ. 朝や日中のワイドショー	18.8	18.7	20.0	21.5	20.2	21.9 <<
タ. その他(具体的に)	1.1	0.9	0.9	0.6	> 0.1	< 0.7
チ. わからない、無回答	0.7	0.7	0.7	0.6	0.9	1.0

—コマーシャルの見方—

第4問 あなたは、テレビのコマーシャルをどのようにご覧になっていますか。リスト3のように分けると、どれに近いでしょうか。

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. 楽しんで見ている	24.3	< 26.8	28.7	27.5	> 23.2	24.8%
2. 何とも思わずに見ている	45.9	43.5	44.1	44.5	44.9	46.7
3. がまんして見ている	16.3	17.9	> 14.2	13.8	13.8	11.4
4. ほとんど見ない	12.3	10.6	11.6	13.2	< 16.0	15.1
5. わからない、無回答	1.3	1.4	1.4	1.1	< 2.1	2.1

—テレビの見方 A：ひとりで見ると—

第5 A問 あなたの、テレビの見方について、いろいろおうかがいします。

A. あなたは、テレビをひとりで見ることが多いですか、それとも、他の人と見ることが多いですか。

	90	95	2000	2005	2010年
1. ひとりで見ることが多い	36.0	38.3	< 41.0	41.8	42.5%
2. 他の人と見ることが多い	53.2	50.5	48.8	47.2	44.6
3. どちらともいえない	10.0	10.4	9.5	9.9	11.4
4. わからない、無回答	0.7	0.9	0.7	1.1	1.5

—テレビの見方 B：時刻決まっているか—

第5 B問 B. あなたがテレビを見る時刻はだいたい決まっていますか、それとも、あまり決まっていませんか。

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. だいたい決まっている	79.6	77.6	76.1	< 78.7	> 75.5	75.0%
2. あまり決まっていない	17.7	19.2	21.0	> 18.5	20.6	21.4
3. どちらともいえない	1.9	2.6	2.1	2.0	2.8	2.0
4. わからない、無回答	0.8	0.6	0.8	0.8	1.1	1.5

—テレビの見方 C：自分で選ぶか—

第5 C問 C. あなたがご覧になるテレビ番組は、あなたご自身で選ぶことが多いですか、それとも他の人が選ぶことが多いですか。

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. 自分で選ぶことが多い	62.7	62.3	64.1	66.2	65.5	> 61.6%
2. 他の人が選ぶことが多い	23.0	21.4	20.1	> 16.9	17.7	< 20.7
3. どちらともいえない	13.4	< 15.8	14.8	16.1	15.9	15.8
4. わからない、無回答	0.9	0.5	0.9	0.7	0.8	< 1.9

—テレビの見方 D：時間やりくりするか—

第5 D問 D. あなたは、時間のやりくりをしてテレビを見るのが、よくありますか、それとも、ほとんどありませんか。

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. よくある	23.4	22.8	21.2	23.3	> 20.5	20.8%
2. ほとんどない	63.6	65.8	68.0	> 65.4	67.3	66.7
3. どちらともいえない	11.4	10.5	9.4	10.3	10.9	10.4
4. わからない、無回答	1.6	> 0.8	< 1.4	1.0	1.3	2.0

—テレビの見方 E：夢中になるか—

第5 E問 E. あなたは、思わず夢中になってテレビを見ることがよくありますか、それとも、ほとんどありませんか。

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. よくある	47.8	46.8	45.2	46.5	> 42.1	43.5%
2. ほとんどない	36.0	34.8	36.9	36.0	< 39.4	39.4
3. どちらともいえない	15.1	< 17.4	16.8	16.7	17.3	15.4
4. わからない、無回答	1.1	1.1	1.0	0.9	1.2	1.7

—テレビの見方 F：見たいものしか見ないか—

第5 F問 F. あなたは、見たい番組しかテレビを見ないほうですか、それとも、とくに見たいと思わない番組でも見るほうですか。

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. 見たい番組しか見ない	61.2	59.8	57.9	59.5	59.1	60.0%
2. 見たいと思わない番組でも見る	29.7	30.5	32.2	> 29.8	27.9	27.7
3. どちらともいえない	8.2	9.1	8.9	9.5	< 11.8	10.4
4. わからない、無回答	0.9	0.7	1.0	1.1	1.2	1.8

—テレビの見方 G：ひとりだけで見たいか—

第5 G問 G. あなたは、テレビをひとりだけで見たいほうですか、それとも、他の人といっしょに見たいほうですか。

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. ひとりだけで見たい	32.0	33.0	34.3	36.5	< 39.4	36.3%
2. 他の人といっしょに見たい	43.9	> 39.7	37.6	> 34.8	> 29.8	30.1
3. どちらともいえない	23.2	< 26.5	27.0	27.6	29.4	31.2
4. わからない、無回答	0.9	0.9	1.2	1.1	1.4	< 2.4

—テレビの見方 H：見ないと落ち着かないか—

第5 H問 H. あなたは、テレビがついていないと落ち着かないほうですか、それとも、そういうことはありませんか。

	85	90	95	2000	2005	2010年			
1. 落ち着かない	15.5	<	17.9	18.4	19.5	17.8	16.6%		
2. そういふことはない	80.1	>	75.9	76.5	75.1	76.6	76.1	»	
3. どちらともいえない	3.6	<	5.5	4.3	4.8	4.4	5.6	«	
4. わからない、無回答	0.8		0.6	0.8	0.6	<	1.1	1.6	«

—現代的なテレビの見方 A：環境性—

第6 A問 では、あなたはふだん、リスト4のAからDにあるようなテレビの見方をすることがありますか。

リスト4のように分けるとどれになりますか。1つ1つについてお答えください。

A. 家に帰ると、とりあえずテレビをつける

	2005	2010年
1. よくある	39.4	40.8%
2. ときどきある	23.0	22.8
3. ほとんどない	34.4	33.1
4. どちらともいえない	1.9	1.7
5. わからない、無回答	1.3	1.5

—現代的なテレビの見方 B：一瞥性—

第6 B問 B. テレビをつけておいて、気になったときだけ目を向ける

	2005	2010年
1. よくある	32.1	30.3%
2. ときどきある	32.9	32.6
3. ほとんどない	30.5	32.5
4. どちらともいえない	2.7	2.1
5. わからない、無回答	1.8	2.5

—現代的なテレビの見方 C：引照性—

第6 C問 C. 他の番組のことや、出演者の情報を重ね合わせながら見る

	2005	2010年
1. よくある	15.7	15.6%
2. ときどきある	23.6	21.1
3. ほとんどない	55.5	57.8
4. どちらともいえない	2.7	2.5
5. わからない、無回答	2.5	3.0

—現代的なテレビの見方 D：一体性—

第6 D問 D. テレビにツッコミを入れながら見る

	2005	2010年
1. よくある	9.6	10.3%
2. ときどきある	24.2	24.5
3. ほとんどない	61.6	62.0
4. どちらともいえない	2.1	1.2
5. わからない、無回答	2.5	2.0

—チャンネル切り換えの有無—

第7問 あなたは、テレビの番組を見ている途中で、リモコン装置を使って、チャンネルを頻繁に切り換えることがよくあるほうですか、それとも、ほとんどないほうですか。

	95	2000	2005	2010年		
1. よくあるほう	36.7	35.7	37.0	34.9%		
2. ほとんどないほう	54.0	54.3	>	49.5	52.6	
3. どちらともいえない	7.3	8.5	<	11.5	10.4	«
4. リモコン装置は持っていない	1.2	>	0.7	0.5	0.3	»
5. わからない、無回答	0.8	0.8	<	1.6	1.8	«

—番組の選択方法—

第8問 あなたは、ふだんテレビを見る時、番組をどのように、選んでいますか。

リスト5の中から、いちばん多いと思うものをひとつだけお答えください。

	2000	2005	2010年			
1. リモコンで探して選ぶ	14.3	<	17.4	<	23.5%	«
2. 新聞のテレビ欄を見て選ぶ	60.3	>	55.7	>	49.2	»
3. 情報誌のテレビ欄を見て選ぶ	2.0	1.7	2.2			
4. インターネットのテレビ欄を見て選ぶ	0.2	<	0.7	<	2.0	«
5. よく見る番組は決まっている	17.6	17.3	14.8			»

6. 家族が選んだものを見る	4.4	5.4	5.7	
7. わからない、無回答	1.1	1.7	2.5	◀

一テレビの効用 A：生活情報一

第9A問 テレビとあなたの生活との関係についてうかがいます。
リスト6のAからDについて、「そう思う」か「そう思わない」かでお答えください。
テレビがあることで

A. 毎日の生活に欠かせない情報が得られる

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. そう思う	74.6	75.0	76.5	> 73.8	71.6	73.1%
2. そう思わない	15.7	15.6	> 13.2	< 15.4	17.0	15.0
3. どちらともいえない	7.8	7.7	8.5	9.3	9.7	9.5
4. わからない、無回答	2.0	1.6	1.9	1.5	1.7	2.4

一テレビの効用 B：習慣やリズム一

第9B問 B. 毎日の生活に習慣やリズムが生まれる

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. そう思う	37.9	38.2	< 42.7	44.0	> 40.1	< 44.1% ◀
2. そう思わない	45.9	46.3	> 42.6	41.0	< 43.8	40.8 ▶
3. どちらともいえない	12.8	12.8	12.0	12.8	13.7	12.7
4. わからない、無回答	3.3	2.6	2.6	2.2	2.4	2.4

一テレビの効用 C：生き方の手本一

第9C問 C. 生き方や行動の手本が得られる

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. そう思う	47.1	> 42.5	42.1	43.2	> 38.2	< 43.4% ▶
2. そう思わない	33.7	< 36.8	36.8	34.9	< 39.9	> 33.7
3. どちらともいえない	15.7	< 18.0	17.5	19.2	19.2	19.9 ◀
4. わからない、無回答	3.6	2.7	3.6	> 2.7	2.7	3.0

一テレビの効用 D：一家団らん一

第9D問 D. 家族の団らんに役に立つ

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. そう思う	70.4	> 67.4	67.0	65.4	> 62.7	64.7% ▶
2. そう思わない	17.6	18.7	19.1	20.0	21.1	20.1
3. どちらともいえない	9.7	< 11.4	11.6	12.3	14.0	12.2 ◀
4. わからない、無回答	2.3	2.4	2.2	2.3	2.2	3.0

一テレビの効用 E：話のタネ一

第9E問 リスト7のE～Hについてはどうでしょうか。
E. 人とつきあうときの話のタネが得られる

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. そう思う	80.1	79.5	79.5	78.0	> 74.7	75.1% ▶
2. そう思わない	12.2	13.1	12.1	13.4	15.2	14.4
3. どちらともいえない	5.6	5.8	6.5	6.8	8.2	8.0 ◀
4. わからない、無回答	2.1	1.6	1.8	1.8	1.9	2.4

一テレビの効用 F：意見の理解一

第9F問 F. さまざまな意見や考え方が理解できる

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. そう思う	71.6	72.9	73.6	74.3	73.1	74.6%
2. そう思わない	12.9	12.0	12.4	12.1	12.8	10.5 ▶
3. どちらともいえない	11.8	11.9	10.8	10.9	11.8	12.0
4. わからない、無回答	3.7	3.1	3.1	2.6	2.3	3.0

一テレビの効用 G：代理経験一

第9G問 G. 現実にはできない経験が味わえる

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. そう思う	60.7	60.8	58.9	> 54.6	52.2	55.4% ▶
2. そう思わない	23.1	24.4	26.0	< 29.3	30.8	> 26.9 ◀
3. どちらともいえない	11.1	11.2	11.4	12.6	13.2	13.6 ◀
4. わからない、無回答	5.1	> 3.6	3.7	3.5	3.7	4.1

—テレビの効用 H：話し相手—

第9 H問 H.話し相手の代わりになる

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. そう思う	27.1	> 21.4	22.5	21.7	> 18.8	17.4% >>
2. そう思わない	60.5	< 67.5	65.6	65.8	< 68.6	70.7 <<
3. どちらともいえない	9.0	8.6	9.3	9.8	10.3	9.1
4. わからない、無回答	3.4	2.6	2.7	2.7	2.3	2.9

—テレビの重要度—

第10問 あなたにとって、テレビは、ひとことで言えば、どんな感じのものですか。

リスト8の中から、いちばん近い感じのものをひとつだけお答えください。

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. なくてはならないもの	37.3	39.8	< 42.7	42.7	40.6	41.6% <<
2. あれば便利という程度のもの	56.3	53.6	52.0	52.2	53.0	51.9 >>
3. 別にどうということはないもの	5.6	5.7	4.9	4.4	5.1	4.5
4. あるとじゃまなもの	0.5	0.3	0.1	0.3	0.4	0.4
5. わからない、無回答	0.4	0.6	0.3	0.4	< 1.0	1.6 <<

—テレビの影響イメージ A：深く考える力—

第11 A問 テレビの影響についてうかがいます。リスト9のA～Cについて、あなたのお考えに近いものをあげてください。

A. テレビは人々がものごとを深く考える力を・・・

	95	2000	2005	2010年
1. 強くした	33.6	> 30.8	30.0	< 34.2%
2. 弱くした	25.1	26.1	> 20.6	> 14.1 >>
3. どちらともいえない	39.2	40.5	< 46.0	47.5 <<
4. わからない、無回答	2.0	2.6	3.3	4.2 <<

—テレビの影響イメージ B：画一化—

第11 B問 B.テレビは人々の生活のしかたを・・・

	95	2000	2005	2010年
1. 個性的なものにした	11.5	10.7	12.2	11.6%
2. 似たものにした	46.6	48.2	> 42.7	> 37.3 >>
3. どちらともいえない	38.7	37.9	< 41.1	< 45.2 <<
4. わからない、無回答	3.1	3.2	3.9	< 5.9 <<

—テレビの影響イメージ C：暴力行為—

第11 C問 C.テレビは青少年の非行や暴力行為を・・・

	95	2000	2005	2010年
1. 抑制した	7.6	7.8	7.2	8.1%
2. 助長した	43.0	< 53.5	> 49.7	> 35.0 >>
3. どちらともいえない	46.4	> 36.0	< 40.2	< 51.9 <<
4. わからない、無回答	3.0	2.7	2.9	< 5.0 <<

—テレビの影響イメージ D：物か心か—

第11 D問 次に、リスト10のD、Eについてはいかがでしょうか。

D. テレビは人々に・・・

	95	2000	2005	2010年
1. 心の豊かさを重視させた	22.5	> 19.5	< 22.4	25.1%
2. 物の豊かさを重視させた	34.8	35.3	> 29.9	> 26.1 >>
3. どちらともいえない	39.7	41.8	43.8	43.8 <<
4. わからない、無回答	2.9	3.4	3.9	5.0 <<

—テレビの影響イメージ E：政治や社会関心—

第11 E問 E. テレビは人びとの政治や社会に対する関心を・・・

	95	2000	2005	2010年
1. 強くした	70.6	> 62.6	< 65.5	< 72.3%
2. 弱くした	4.5	< 5.9	5.3	> 2.6 >>
3. どちらともいえない	22.6	< 29.2	> 26.3	> 21.4 <<
4. わからない、無回答	2.4	2.3	2.9	3.7 <<

—番組の評価 (NHK) (MA) —

第12 A問 A. あなたは、最近のNHKのテレビについて、どんな感じをお持ちですか。リスト11の中に、あてはまることがありましたら、いくつでも、おっしゃってください。

	85	90	95	2000	2005	2010年
ア. 新鮮な感じのする番組がある	26.6	25.5	> 22.1	< 25.1	> 17.3	< 24.4%
イ. 自分の気持ちにぴったり合う番組がある	22.7	22.6	20.6	22.5	> 18.0	< 21.1
ウ. 娯楽番組に、おもしろいものがある	17.7	> 13.9	12.7	< 16.9	> 11.0	12.3
エ. 事件や災害が起きたときの対応が速い	55.5	54.9	< 59.8	> 54.3	< 60.4	59.5
オ. 報道番組の掘り下げ方が深い	29.1	< 33.7	> 29.0	> 24.7	> 20.2	< 24.9
カ. 報道番組が中立・公正である	30.9	< 35.3	37.4	> 34.7	> 25.1	< 31.9
キ. 教養番組に、興味深いものがある	46.4	< 49.3	47.8	47.9	> 43.5	46.4
ク. 地域の出来事や話題を、よく伝えている	43.5	42.6	40.9	> 36.9	> 34.2	< 38.8
ケ. どれもあてはまらない	3.6	3.5	3.8	3.8	< 6.9	5.6
コ. わからない、無回答	4.9	5.4	4.6	4.8	< 6.6	6.3

—番組の評価 (民放) (MA) —

第12 B問 B. 同じく、民放のテレビについては、いかがでしょうか。いくつでも、おっしゃってください。

	85	90	95	2000	2005	2010年
ア. 新鮮な感じのする番組がある	16.6	< 21.3	19.6	18.4	20.2	20.8%
イ. 自分の気持ちにぴったり合う番組がある	22.3	24.2	25.1	24.2	24.8	26.1
ウ. 娯楽番組に、おもしろいものがある	66.6	64.6	65.5	> 61.7	60.4	59.7
エ. 事件や災害が起きたときの対応が速い	16.6	< 23.2	22.0	> 19.0	18.9	18.6
オ. 報道番組の掘り下げ方が深い	10.9	< 18.2	17.0	16.1	16.5	17.3
カ. 報道番組が中立・公正である	3.9	< 5.9	> 4.1	4.0	4.5	4.7
キ. 教養番組に、興味深いものがある	5.9	6.7	7.8	7.0	7.7	< 10.5
ク. 地域の出来事や話題を、よく伝えている	23.6	< 28.9	> 26.4	26.1	26.8	25.3
ケ. どれもあてはまらない	6.7	6.5	6.8	< 8.7	8.2	8.7
コ. わからない、無回答	8.3	7.5	> 5.3	6.0	7.2	7.9

—テレビの満足度—

第13問 では、あなたは、現在のテレビに、全体として、どの程度、満足していますか。リスト12の中から、お答えください。

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. 十分、満足している	13.9	12.9	12.1	12.9	12.1	< 14.7%
2. どちらかといえば、満足している	68.5	67.2	66.9	64.8	63.8	64.1
3. どちらかといえば、不満である	13.1	< 15.4	16.4	17.8	18.2	> 15.0
4. まったく不満である	0.7	0.8	1.2	1.0	1.6	1.3
5. わからない、無回答	3.9	3.7	3.5	3.4	4.2	4.8

—放送期待機能—

第14問 テレビの放送番組をリスト13のような三つの種類に分けた場合、あなたがいちばん多く放送してもらいたいものは、どれでしょうか。ひとつだけおっしゃってください。

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. くつろいで楽しめる番組	41.1	> 37.9	36.9	37.1	> 33.3	33.4%
2. 世の中の出来事や動きを伝える番組	40.0	< 44.1	45.5	> 42.1	< 46.4	46.0
3. 知識や教養を身につけるのに役立つ番組	16.7	15.7	15.2	< 18.6	16.5	16.3
4. わからない、無回答	2.1	2.3	2.4	2.2	< 3.8	4.3

—余暇時間量—

第15問 休日を除くふだんの日に、あなたが、自分で自由に使える余暇時間は、1日に何時間ぐらいでしょうか。

	85	90	95	2000	2005	2010年
1. 1時間ぐらい	10.7	10.8	9.5	10.2	10.1	10.0%
2. 2時間ぐらい	22.5	23.2	23.6	21.5	> 18.7	19.2
3. 3時間ぐらい	21.8	21.4	21.0	20.1	18.6	18.5
4. 4時間ぐらい	13.6	12.8	13.1	12.0	12.0	10.8
5. 5時間ぐらい	9.8	9.8	11.2	11.9	11.6	9.6
6. 6時間ぐらい	4.0	4.1	4.8	5.5	5.3	< 7.4
7. 7時間ぐらい	1.3	1.1	1.2	1.1	< 2.0	1.2
8. 8時間ぐらい	1.5	1.4	1.6	2.0	2.3	3.1
9. 9時間以上	7.4	7.2	8.1	< 9.9	< 12.6	14.5
10. ほとんどない	5.4	6.4	> 4.2	4.6	4.6	3.8
11. わからない、無回答	1.8	1.8	1.8	1.2	< 2.1	1.9

—家族コミュニケーション—

第16問 あなたは、日ごろ、家族の方とよく話をしていると思いますか。それとも、そう思いませんか。

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. そう思う	70.4	70.8	68.3	70.3	69.4	> 65.8%	》
2. そう思わない	15.1	14.5	< 17.7	> 15.2	> 12.6	< 16.0	
3. どちらともいえない	11.2	10.8	11.2	10.7	< 13.2	12.8	
4. 家族はいない	2.6	3.1	2.4	3.1	3.5	3.7	
5. わからない、無回答	0.8	0.8	0.5	0.6	< 1.4	1.7	《

—家族外コミュニケーション (MA) —

第17問 では、リスト14の中に、あなたが、日ごろ、よく話をしている人がいらっしゃいましたら、いくつでもあげてください。

	85	90	95	2000	2005	2010年	
ア. 親せきの人	30.3	28.8	27.7	25.7	26.4	> 18.1%	》
イ. 幼なじみや学校(時代)の友だち	30.4	30.2	30.3	30.1	> 25.9	25.0	》
ウ. となり近所の人	40.7	38.8	> 34.8	33.4	33.5	> 27.4	》
エ. 職場の人	45.2	46.1	48.4	48.6	> 45.0	45.8	
オ. 仕事の関係で知りあった人	31.7	32.5	32.1	31.3	> 26.8	24.7	》
カ. 家族の関係で知りあった人	21.8	< 25.3	23.2	24.7	23.6	24.5	
キ. 趣味・けいこごとの仲間	26.5	27.2	< 30.9	> 28.4	27.4	25.0	
ク. その他(具体的に)	0.9	< 1.7	1.8	2.0	> 0.9	< 3.3	《
ケ. よく話をしている人はいない	2.4	2.6	2.1	2.5	3.0	3.5	
コ. わからない、無回答	0.3	< 0.7	0.6	0.7	< 2.0	1.5	《

—マスメディア接触頻度 A:テレビ—

第18A問 あなたが、テレビや新聞などにどのくらい接しているかがいますが、リスト15のAからEについてどのくらい見聞きしているか、お答えください。

A. テレビ(ビデオやテレビゲームなどを見る場合は除く)

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. 毎日のように	94.3	93.7	94.2	94.7	> 92.6	91.5%	》
2. 週に3・4回ぐらい	2.5	2.4	2.7	2.2	2.6	2.7	
3. 週に1・2回ぐらい	0.9	1.2	0.7	1.1	1.3	1.4	
4. 月に1・2回ぐらい	0.3	0.1	0.2	0.1	< 0.5	0.2	
5. ほとんど、全然見ない	1.4	2.1	> 1.3	1.4	1.4	< 2.5	《
6. わからない、無回答	0.5	0.5	0.8	0.5	< 1.7	1.7	《

—マスメディア接触頻度 B:ビデオ・DVD・ブルーレイディスク—

第18B問 B.ビデオ・DVD・ブルーレイディスク

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. 毎日のように	4.0	< 5.7	5.5	< 7.3	6.3	7.9%	《
2. 週に3・4回ぐらい	5.0	< 9.1	8.6	8.2	8.5	> 6.2	
3. 週に1・2回ぐらい	7.7	< 19.0	19.8	19.9	18.4	17.9	《
4. 月に1・2回ぐらい	8.6	< 17.2	< 19.8	19.7	19.6	> 16.0	《
5. ほとんど、全然見ない	71.4	> 47.3	44.8	43.2	44.7	< 48.5	》
6. わからない、無回答	3.3	> 1.7	1.5	1.6	< 2.5	3.5	

—マスメディア接触頻度 C:HDD—

第18C問 C.HDD(ハードディスクレコーダー)

	2005	2010年	
1. 毎日のように	2.2	< 6.6%	《
2. 週に3・4回ぐらい	1.5	< 4.6	《
3. 週に1・2回ぐらい	2.7	< 8.8	《
4. 月に1・2回ぐらい	3.0	4.3	
5. ほとんど、全然見ない	82.7	> 69.8	》
6. わからない、無回答	8.0	> 5.9	》

—マスメディア接触頻度 D:ラジオ—

第18D問 D.ラジオ(FMや短波を含める。録音したものを聞く場合は除く)

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. 毎日のように	38.9	> 35.0	34.9	34.8	> 31.7	> 26.1%	》
2. 週に3・4回ぐらい	9.6	> 6.4	< 10.5	> 7.8	6.4	5.4	》
3. 週に1・2回ぐらい	10.5	9.8	9.1	10.0	> 7.8	7.2	》
4. 月に1・2回ぐらい	7.0	6.9	7.0	6.3	6.0	4.3	》
5. ほとんど、全然聞かない	32.8	< 40.4	> 37.3	39.6	< 45.8	< 53.6	《
6. わからない、無回答	1.3	1.5	1.2	1.5	< 2.4	3.3	《

—マスメディア接触頻度 E：CD など—

第18 E問 E. CD・MD・テープ

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. 毎日のように	14.5	< 17.0	< 20.7	22.0	20.6	18.4%	◀
2. 週に3・4回ぐらい	8.1	7.9	< 9.9	10.4	10.3	8.5	
3. 週に1・2回ぐらい	11.9	11.0	11.5	< 13.4	> 11.1	10.0	
4. 月に1・2回ぐらい	13.3	12.0	12.6	> 10.8	10.5	10.7	▶
5. ほとんど、全然聞かない	50.0	49.5	> 43.0	41.6	< 44.8	< 48.9	
6. わからない、無回答	2.3	2.6	2.3	1.8	< 2.7	3.4	

—マスメディア接触頻度 F：新聞—

第18 F問 リスト16のFからIについては、どのくらい読んでいらっしゃいますか。

F. 新聞

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. 毎日のように	90.8	> 88.4	88.2	> 86.3	> 82.6	> 73.5%	▶
2. 週に3・4回ぐらい	2.5	3.3	3.7	4.2	4.9	5.6	◀
3. 週に1・2回ぐらい	1.2	1.6	1.4	< 2.3	2.6	3.2	◀
4. 月に1・2回ぐらい	0.3	0.6	0.5	0.6	< 1.1	1.9	◀
5. ほとんど、全然読まない	4.7	5.3	5.5	6.1	7.1	< 13.7	◀
6. わからない、無回答	0.5	0.7	0.7	0.4	< 1.7	2.1	◀

—マスメディア接触頻度 G：週刊誌—

第18 G問 G. 週刊誌（マンガ・劇画ものを除く）

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. 毎日のように	4.0	3.2	3.3	3.0	> 2.1	1.3%	▶
2. 週に3・4回ぐらい	7.6	> 6.1	5.9	5.4	4.2	2.9	▶
3. 週に1・2回ぐらい	18.1	16.2	17.5	16.7	> 12.8	10.4	▶
4. 月に1・2回ぐらい	22.4	24.3	22.6	22.3	20.7	> 17.0	▶
5. ほとんど、全然読まない	46.3	48.9	49.2	51.4	< 57.9	< 65.1	◀
6. わからない、無回答	1.7	1.2	1.5	1.3	< 2.3	3.3	◀

—マスメディア接触頻度 H：本—

第18 H問 H. 本（マンガ・劇画ものを除く）

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. 毎日のように	13.4	> 11.4	12.9	13.2	11.9	11.6%	
2. 週に3・4回ぐらい	7.8	8.5	8.6	8.6	7.3	6.5	
3. 週に1・2回ぐらい	12.1	12.0	12.7	11.9	11.8	10.9	
4. 月に1・2回ぐらい	23.2	24.0	24.1	23.9	24.0	> 20.5	
5. ほとんど、全然読まない	41.9	42.6	40.2	41.0	42.9	< 47.4	◀
6. わからない、無回答	1.6	1.5	1.5	1.4	2.1	3.2	◀

—マスメディア接触頻度 I：マンガ—

第18 I問 I. マンガ・劇画の週刊誌や本

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. 毎日のように	2.6	2.4	< 3.4	3.0	2.4	2.6%	
2. 週に3・4回ぐらい	4.4	4.9	5.4	4.7	4.1	3.6	
3. 週に1・2回ぐらい	10.0	10.0	10.0	9.0	> 7.1	7.6	▶
4. 月に1・2回ぐらい	12.0	11.4	12.6	12.7	11.2	9.8	
5. ほとんど、全然読まない	69.0	69.9	> 67.0	68.9	< 72.9	73.1	◀
6. わからない、無回答	2.0	1.5	1.7	1.7	2.2	3.2	◀

—マスメディア接触頻度 J：インターネット—

第18 J問 J. では、リスト17のインターネットについてはいかがでしょうか。

（インターネットとは、パソコンや携帯電話によるホームページ閲覧や情報検索のことで、ここではメールのやりとりを除く）

	2000	2005	2010年	
1. 毎日のように	8.0	< 16.5	< 26.6%	◀
2. 週に3・4回ぐらい	3.9	< 6.7	7.9	◀
3. 週に1・2回ぐらい	3.6	< 7.2	6.9	◀
4. 月に1・2回ぐらい	3.6	< 6.4	> 4.2	
5. ほとんど、全然使わない	76.8	> 59.5	> 51.7	▶
6. わからない、無回答	4.2	3.6	2.7	▶

—メディアの効用比較 A：報道—

第19 A問 リスト18にあげたことがらについて、あなたにとって、いちばん役に立っているものは何ですか。ひとつだけお答えください。

あなたにとって、いちばん役に立つものは

A. 世の中の出来事や動きを知るうえで

	2000	2005	2010年
1. ラジオ	7.3	8.1	6.2%
2. CD・MD・テープ	0.1	0.1	0.1
3. テレビ	65.3	66.1	62.6
4. 映画・ビデオソフト	0.0	< 0.1	0.1
5. 新聞	24.3	> 18.2	17.9 >>
6. 週刊誌	0.1	0.1	0.0
7. タウン誌・情報誌	0.0	0.1	0.1
8. 本	0.3	0.2	0.2
9. インターネット（メールは除く）	0.5	< 3.6	< 8.4 <<
10. 家族との話	0.7	0.7	1.1
11. 知人との話	0.4	0.7	0.5
12. この中にはない	0.1	0.1	0.1
13. わからない、無回答	1.0	< 2.1	2.8 <<

—メディアの効用比較 B：娯楽—

第19 B問. 感動したり、楽しむうえで

	2000	2005	2010年
1. ラジオ	2.2	1.7	1.8%
2. CD・MD・テープ	2.0	1.8	1.1
3. テレビ	58.4	56.7	60.3
4. 映画・ビデオソフト	14.4	14.9	13.1
5. 新聞	2.4	2.4	1.7
6. 週刊誌	0.1	0.2	0.0
7. タウン誌・情報誌	0.2	0.2	0.0
8. 本	7.0	< 8.7	> 6.1
9. インターネット（メールは除く）	0.1	0.3	< 1.5 <<
10. 家族との話	5.6	> 4.1	4.2
11. 知人との話	4.4	3.6	3.5
12. この中にはない	1.2	< 2.0	1.9
13. わからない、無回答	2.0	< 3.4	4.7 <<

—メディアの効用比較 C：教養—

第19 C問. 教養を身につけるうえで

	2000	2005	2010年
1. ラジオ	1.7	2.3	2.0%
2. CD・MD・テープ	0.0	< 0.4	0.2
3. テレビ	30.2	28.7	< 34.3 <<
4. 映画・ビデオソフト	0.6	0.5	0.7
5. 新聞	19.3	19.9	> 15.9 >>
6. 週刊誌	0.5	0.4	0.1
7. タウン誌・情報誌	2.3	> 1.3	1.1 >>
8. 本	30.4	29.0	> 25.2 >>
9. インターネット（メールは除く）	0.7	< 2.3	< 4.0 <<
10. 家族との話	2.5	1.8	1.3 >>
11. 知人との話	4.2	> 3.0	3.5
12. この中にはない	2.9	< 4.0	3.4
13. わからない、無回答	4.6	< 6.4	8.1 <<

—メディアの効用比較 D：情報—

第19 D問. 生活や趣味に関する情報を得るうえで

	2000	2005	2010年
1. ラジオ	2.5	2.0	2.4%
2. CD・MD・テープ	0.2	0.3	0.2
3. テレビ	37.9	> 34.6	< 38.3
4. 映画・ビデオソフト	0.2	0.3	0.1
5. 新聞	11.4	12.1	> 8.8 >>
6. 週刊誌	3.2	2.9	> 1.3 >>
7. タウン誌・情報誌	12.3	10.8	> 5.8 >>

8. 本	10.3	9.2	7.8	»
9. インターネット（メールは除く）	4.2	< 10.6	< 18.3	«
10. 家族との話	1.8	2.1	1.5	
11. 知人との話	10.5	> 7.8	7.8	»
12. この中にはない	1.8	< 2.7	1.7	
13. わからない、無回答	3.7	4.7	5.8	«

—メディアの効用比較 E：解説—

第19 E問. 政治や社会の問題について考えるうえで

	2000	2005	2010年	
1. ラジオ	2.6	2.2	2.4%	
2. CD・MD・テープ	0.1	0.2	0.1	
3. テレビ	48.2	50.8	< 56.8	«
4. 映画・ビデオソフト	0.5	0.5	0.1	
5. 新聞	40.8	> 35.4	> 27.3	»
6. 週刊誌	0.3	0.6	0.9	«
7. タウン誌・情報誌	0.3	0.3	0.4	
8. 本	0.5	0.8	0.5	
9. インターネット（メールは除く）	0.2	< 1.6	< 3.4	«
10. 家族との話	1.3	1.4	1.4	
11. 知人との話	0.6	0.9	0.9	
12. この中にはない	0.9	0.9	0.8	
13. わからない、無回答	3.6	4.6	5.1	«

—メディアの効用比較 F：慰安—

第19 F問. 疲れを休めたり、くつろぐうえで

	2000	2005	2010年	
1. ラジオ	4.8	4.7	5.2%	
2. CD・MD・テープ	16.4	> 13.4	> 9.7	»
3. テレビ	37.4	37.4	35.7	
4. 映画・ビデオソフト	2.3	< 4.6	5.0	«
5. 新聞	1.3	1.2	0.9	
6. 週刊誌	0.9	0.7	0.6	
7. タウン誌・情報誌	0.4	0.6	0.3	
8. 本	4.0	3.8	4.6	
9. インターネット（メールは除く）	0.1	< 0.8	< 3.1	«
10. 家族との話	18.2	16.5	17.0	
11. 知人との話	6.8	6.8	6.9	
12. この中にはない	4.6	5.4	5.6	
13. わからない、無回答	2.7	< 4.0	< 5.6	«

—メディアの効用比較 G：交流—

第19 G問. 人とのつきあいを深めたり、広げたりするうえで

	2000	2005	2010年	
1. ラジオ	1.5	1.4	1.5%	
2. CD・MD・テープ	0.6	0.4	0.1	»
3. テレビ	21.7	23.4	24.7	
4. 映画・ビデオソフト	0.5	0.4	0.7	
5. 新聞	5.1	5.2	4.4	
6. 週刊誌	0.7	0.5	> 0.0	»
7. タウン誌・情報誌	1.6	2.0	1.4	
8. 本	2.2	1.9	1.8	
9. インターネット（メールは除く）	1.9	2.4	< 5.3	«
10. 家族との話	5.7	< 7.8	6.0	
11. 知人との話	49.1	> 43.8	42.0	»
12. この中にはない	4.3	4.8	4.4	
13. わからない、無回答	5.0	6.1	7.7	«

—欠かせないメディア 1番目—

第20 A問 A. それでは、あなたにとってどうしても欠かせないものはどれですか。

いろいろなことを考えあわせて、リスト19の中からひとつだけ選ぶとしたらどれでしょうか。

	2000	2005	2010年	
1. ラジオ	4.6	5.4	4.8%	
2. CD・MD・テープ	2.3	2.1	> 1.1	»

3. テレビ	34.8	32.7	33.2	
4. 映画・ビデオソフト	0.2	0.3	0.3	
5. 新聞	13.2	> 10.9	9.8	>
6. 週刊誌	0.0	0.1	0.0	
7. タウン誌・情報誌	0.1	0.2	0.0	
8. 本	2.7	2.7	2.5	
9. インターネット（メールは除く）	0.8	< 3.1	< 8.2	<<
10. 家族との話	33.4	33.3	31.9	
11. 知人との話	6.7	5.9	5.5	
12. この中にはない	0.4	0.8	0.3	
13. わからない、無回答	0.7	< 2.5	2.4	<<

一欠かせないメディア 2番目ー

第20 B問 B. もうひとつ選ぶとしたらどれでしょうか。

	2000	2005	2010年	
1. ラジオ	5.2	6.0	4.8%	
2. CD・MD・テープ	3.4	2.6	2.9	
3. テレビ	27.4	26.6	25.9	
4. 映画・ビデオソフト	1.4	1.6	1.2	
5. 新聞	21.1	20.6	> 16.6	>
6. 週刊誌	0.5	0.6	0.3	
7. タウン誌・情報誌	0.7	0.6	0.6	
8. 本	4.5	3.5	4.0	
9. インターネット（メールは除く）	1.2	< 3.4	< 7.1	<<
10. 家族との話	14.6	13.8	13.6	
11. 知人との話	17.2	15.6	18.3	
12. この中にはない	1.2	1.6	1.0	
13. わからない、無回答	1.8	< 3.5	3.8	<<

一欠かせないメディア 1+2番目ー

	2000	2005	2010年	
1. ラジオ	9.7	11.4	9.6%	
2. CD・MD・テープ	5.7	4.7	4.0	>
3. テレビ	62.2	59.3	59.1	
4. 映画・ビデオソフト	1.6	1.9	1.5	
5. 新聞	34.4	> 31.5	> 26.4	>
6. 週刊誌	0.5	0.7	0.3	
7. タウン誌・情報誌	0.8	0.7	0.6	
8. 本	7.2	6.3	6.5	
9. インターネット（メールは除く）	2.0	< 6.6	< 15.3	<<
10. 家族との話	48.0	47.1	45.5	
11. 知人との話	23.8	21.5	23.8	
12. この中にはない	1.2	1.6	1.0	
13. わからない、無回答	0.7	< 2.5	2.4	<<

一マスメディア特性比較 A：速報性ー

第21 A問 では、あなたがリスト20の中のものから、ニュースや情報を知る場合について、お尋ねします。ひとつだけお答えください。ニュースや情報が・・・

A. いちばん早く伝わると思うのは

	2000	2005	2010年	
1. ラジオ	12.2	12.3	10.7%	
2. テレビ	81.7	> 78.1	> 72.6	>
3. 新聞	2.1	1.4	2.2	
4. 雑誌	0.1	0.0	0.0	
5. インターネット（メールは除く）	2.8	< 5.8	< 11.7	<<
6. 家族・知人との話	0.3	0.4	0.5	
7. この中にはない	0.0	0.0	0.0	
8. わからない、無回答	0.8	< 1.9	2.4	<<

—マスメディア特性比較 B：わかりやすさ—

第21 B問 B. いちばん理解しやすいのは

	2000	2005	2010年	
1. ラジオ	2.2	< 3.3	2.4%	
2. テレビ	68.7	67.3	66.8	
3. 新聞	22.9	20.8	18.3	≫
4. 雑誌	0.5	0.3	0.4	
5. インターネット（メールは除く）	0.4	< 2.2	< 5.5	≪
6. 家族・知人との話	3.8	3.4	3.1	
7. この中にはない	0.2	0.1	0.2	
8. わからない、無回答	1.3	< 2.6	3.3	≪

—マスメディア特性比較 C：詳細性—

第21 C問 C. いちばん詳しく知ることができるのは

	2000	2005	2010年	
1. ラジオ	1.3	1.7	1.9%	
2. テレビ	37.4	37.1	36.6	
3. 新聞	51.1	> 46.3	> 37.0	≫
4. 雑誌	3.5	> 1.8	1.7	≫
5. インターネット（メールは除く）	3.0	< 8.0	< 16.8	≪
6. 家族・知人との話	2.0	2.0	2.2	
7. この中にはない	0.4	0.2	0.2	
8. わからない、無回答	1.4	< 3.0	3.5	≪

—マスメディア特性比較 D：選択性—

第21 D問 D. 必要なものだけ、いちばん選びやすいのは

	2000	2005	2010年	
1. ラジオ	1.9	2.7	2.8%	
2. テレビ	37.9	35.4	33.7	≫
3. 新聞	33.1	> 25.2	> 20.0	≫
4. 雑誌	5.5	> 3.2	> 1.9	≫
5. インターネット（メールは除く）	12.7	< 21.9	< 30.7	≪
6. 家族・知人との話	4.2	4.9	4.5	
7. この中にはない	0.6	1.0	0.8	
8. わからない、無回答	4.2	< 5.7	5.6	

—情報化について A：有効性—

第22 A問 ところで、私たちは、テレビや新聞などから、いろいろな情報を知ることができます。

これについて、リスト21のような見方がありますが、あなたのお気持ちは、甲と乙のどちらに近いでしょうか。

- A. 甲：知っておいてよかったと思う情報が多い
乙：知っても、どうということのない情報が多い

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. どちらかといえば甲に近い	79.3	> 76.0	76.4	76.2	> 72.2	70.8%	≫
2. どちらかといえば乙に近い	13.9	15.8	15.4	17.0	18.6	18.5	≪
3. どちらともいえない	4.9	6.0	6.2	5.2	< 6.5	6.7	≪
4. わからない、無回答	2.0	2.2	2.0	1.6	< 2.6	< 4.0	≪

—情報化について B：過多—

第22 B問 B. 甲：いろいろな情報があるので、ものごとの判断に役立つ

乙：いろいろな情報があり過ぎて、迷わされることが多い

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. どちらかといえば甲に近い	53.5	> 48.8	50.0	< 52.7	51.9	52.8%	
2. どちらかといえば乙に近い	36.8	< 40.5	39.4	38.9	36.9	35.9	
3. どちらともいえない	7.2	8.0	8.4	> 6.9	8.2	6.8	
4. わからない、無回答	2.5	2.8	2.2	1.6	< 3.0	< 4.6	≪

—情報化について C：対価—

第22 C問 C. 甲：役に立つ情報を手に入れるためには、かなりお金がかかっても構わない

乙：役に立つとはいっても、情報のためにそれほどお金をかけたいとは思わない

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. どちらかといえば甲に近い	24.0	23.4	> 21.0	19.6	> 17.2	16.5%	≫
2. どちらかといえば乙に近い	65.0	63.0	< 67.7	< 70.2	72.3	71.8	≪
3. どちらともいえない	8.0	< 10.2	> 8.1	7.8	7.3	6.9	
4. わからない、無回答	3.1	3.4	3.1	2.3	< 3.2	< 4.8	≪

—マスコミについて A：事実どおりか—

第23 A問 では、リスト22のような見方には、どうお考えですか。「そう思う」か「そう思わない」かでお答えください。

A. マスコミが伝えていることは、ほぼ事実どおりだと思う

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. そう思う	37.2	> 33.6	33.3	> 28.5	28.4	25.5%	»
2. そう思わない	43.3	< 47.0	47.1	< 53.8	> 49.5	52.3	«
3. どちらともいえない	16.7	16.6	17.5	15.7	< 18.3	17.6	
4. わからない、無回答	2.8	2.8	2.1	2.1	< 3.8	4.6	«

—マスコミについて B：マスコミ誘導—

第23 B問 B. 人びとの意見は、知らないうちにマスコミの言うとおりに動かされていることが多い

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. そう思う	72.9	72.7	< 75.7	< 78.7	> 75.2	75.3%	
2. そう思わない	12.8	13.9	> 11.5	10.5	11.6	10.9	
3. どちらともいえない	9.3	9.4	9.6	> 8.1	9.1	9.1	
4. わからない、無回答	5.1	4.0	3.3	2.6	< 4.1	4.7	

—テレビ特性 C：実感—

第23 C問 C. テレビで見たことは、直接見聞きしたのと同じように、実感が持てる

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. そう思う	52.3	< 57.1	> 49.3	> 42.4	41.9	> 36.9%	»
2. そう思わない	31.2	> 27.7	< 32.6	< 38.9	> 36.1	< 39.8	«
3. どちらともいえない	12.8	12.9	< 15.9	16.4	17.4	18.7	«
4. わからない、無回答	3.6	> 2.4	2.1	2.4	< 4.5	4.6	

—NHKの必要性—

第24 A問 A. ところで、あなたは、NHKについてどのように感じていますか。

リスト23の中から、あなたのお気持ちにいちばん近いものをおっしゃってください。

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. ぜひ、必要だと思う	40.9	> 37.4	37.7	< 40.4	> 27.8	< 37.8%	
2. まあ、必要だと思う	47.8	49.3	49.5	48.1	50.6	47.1	
3. あまり、必要ないと思う	8.3	< 10.2	9.1	8.7	< 15.4	> 10.1	
4. まったく、必要ないと思う	1.3	1.1	1.5	1.2	< 2.7	2.0	
5. わからない、無回答	1.8	1.9	2.1	1.6	< 3.5	3.0	«

—民放の必要性—

第24 B問 B. では、民放についてはいかがでしょうか。やはり、リスト23の中からおっしゃってください。

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. ぜひ、必要だと思う	24.0	< 27.5	26.8	25.9	26.9	27.3%	«
2. まあ、必要だと思う	63.0	61.2	60.7	60.1	59.9	59.2	»
3. あまり、必要ないと思う	10.8	> 8.5	9.5	< 11.4	> 8.9	9.8	
4. まったく、必要ないと思う	0.5	0.6	0.7	0.9	0.8	0.8	
5. わからない、無回答	1.7	2.3	2.2	1.7	< 3.5	2.9	«

—関心の方向 A：仕事か余暇—

第25 A問 話は変わりますが、リスト24のAからCについて、甲と乙とを比べた場合、どちらに多く関心を持っているか、お答えください。

A. 甲：仕事（家事）や勉強のこと

乙：趣味やレジャーのこと

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. どちらかといえば甲のほう	60.8	> 55.1	> 50.2	< 53.6	> 50.8	47.7%	»
2. どちらかといえば乙のほう	30.7	< 34.4	< 39.8	38.0	39.0	39.4	«
3. どちらともいえない	6.6	< 8.5	8.3	> 6.9	7.1	< 9.4	«
4. わからない、無回答	1.9	2.1	1.6	1.6	< 3.2	3.5	«

—関心の方向 B：自分か社会—

第25 B問 B. 甲：自分の生活のこと

乙：社会のこと

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. どちらかといえば甲のほう	76.6	> 72.7	71.9	< 76.9	> 74.1	71.5%	»
2. どちらかといえば乙のほう	16.9	< 19.3	20.7	> 16.9	17.4	18.0	
3. どちらともいえない	4.8	< 6.3	5.8	4.9	6.0	7.0	«
4. わからない、無回答	1.6	1.8	1.5	1.3	< 2.5	3.5	«

—関心の方向 C：将来か現在—

第25 C問 C. 甲：将来のこと
乙：現在のこと

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. どちらかといえば甲のほう	40.0	39.2	36.8	39.3	40.3	> 33.7%	≫
2. どちらかといえば乙のほう	51.0	51.2	53.8	52.7	> 49.4	< 55.4	≪
3. どちらともいえない	7.1	7.7	7.8	6.5	7.8	7.2	
4. わからない、無回答	1.8	1.9	1.7	1.5	< 2.6	3.7	≪

—選択強度 A：選択性—

第26 A問 次に、あなたの性格についてお尋ねします。「はい」か「いいえ」でお答えください。

A. あなたは、欲しいものは、納得がいくまで探すほうですか。

	2000	2005	2010年	
1. はい	46.7	> 43.0	43.4%	≫
2. いいえ	40.4	40.4	38.9	
3. どちらともいえない	12.2	< 14.4	15.1	≪
4. わからない、無回答	0.8	< 2.2	2.6	≪

—選択強度 B：即時充足—

第26 B問 B. あなたは、欲しいものはすぐ手に入らないと、気がすまないほうですか。

	2000	2005	2010年	
1. はい	18.1	16.8	14.6%	≫
2. いいえ	69.1	67.3	70.1	
3. どちらともいえない	11.9	< 13.8	12.5	
4. わからない、無回答	0.9	< 2.1	2.8	≪

—社会の満足度—

第27問 あなたは、現在の社会に、どの程度、満足していますか。リスト25の中から、お答えください。

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. 十分、満足している	7.0	7.5	> 6.0	> 4.0	> 2.8	3.6%	≫
2. どちらかといえば、満足している	57.9	56.9	56.7	> 44.4	45.3	41.7	≫
3. どちらかといえば、不満である	29.7	30.2	30.8	< 42.3	42.3	43.9	≪
4. まったく不満である	2.1	2.5	3.1	< 5.8	5.3	6.0	≪
5. わからない、無回答	3.3	3.0	3.4	3.5	4.4	4.8	≪

—生活満足度—

第28問 それでは、あなたは、あなた自身の今の生活に、全体としてどの程度満足していますか。やはりリスト25の中からお答えください。

	2005	2010年	
1. 十分、満足している	13.9	16.3%	
2. どちらかといえば、満足している	63.4	> 59.7	≫
3. どちらかといえば、不満である	17.4	17.7	
4. まったく不満である	2.7	3.3	
5. わからない、無回答	2.6	3.1	

—テレビ台数—

第29問 最後にお宅のことなどについてうかがいます。お宅にはテレビは全部で何台ありますか。(白黒・カラーを問わない)

	85	90	95	2000	2005	2010年	
1. 1台	30.2	> 23.7	> 19.1	17.2	18.6	< 23.0%	≫
2. 2台	40.7	38.1	> 33.9	32.1	31.7	31.5	≫
3. 3台	20.3	< 24.3	26.2	26.3	24.1	23.6	≪
4. 4台以上	8.1	< 13.2	< 19.9	< 23.3	23.8	> 19.2	≪
5. ない	0.5	0.3	0.4	0.5	0.3	0.8	
6. わからない、無回答	0.2	0.3	0.5	0.6	< 1.5	1.8	≪

—民放テレビ局数—

第30問 あなたのお宅のテレビでは、民放テレビはあわせて何チャンネル見ることができますか。(UHF、衛星放送も含む)

	2000	2005	2010年	
1. 民放は見られない 1, 2チャンネル	0.6	0.3	0.6%	
2. 3チャンネル	5.5	> 4.1	> 2.7	≫
3. 4チャンネル	11.4	> 9.4	8.4	≫
4. 5チャンネル	17.9	> 15.7	> 10.2	≫

5. 6チャンネル	15.0	14.2	>	10.3	>>
6. 7チャンネル	12.7	>	9.4	>	6.5 >>
7. 8チャンネル	8.5	>	6.7	>	5.5 >>
8. 9チャンネル	4.4	>	4.3	>	1.7 >>
9. 10チャンネル以上	20.8	<	31.5	<	46.7 <<
10. わからない、無回答	3.3	<	4.5	<	7.4 <<

—所有機器 (MA) —

第31 A問 リスト26の中で、お宅にあるものがありましたら、いくつでもお答えください。

	95	2000	2005	2010年	
ア. 家庭用ビデオ	83.6	<	91.0	>	89.1 > 71.3% >>
イ. 25インチ以上のテレビ	54.5	<	67.8	>	67.1 < 75.5 <<
ウ. 横長テレビ	5.1	<	24.1	<	26.7 < 46.1 <<
エ. CATV (多チャンネル型が受信できるテレビ)	6.8	<	11.5	<	17.7 < 27.0 <<
オ. パソコン・ワープロ	44.7	<	55.7	>	66.5 66.6 <<
カ. テレビゲーム	51.0	52.9	>	47.7	48.9 <<
キ. 文字放送が受信できるテレビ	7.9	<	13.5	>	9.4 < 26.3 <<
ク. 衛星放送が受信できるテレビ	27.9	<	40.8	>	40.1 < 49.9 <<
ケ. ハイビジョン放送が受信できるテレビ	2.1	<	8.4	<	10.3 < 38.1 <<
コ. CDプレーヤー	52.7	<	57.5	>	66.8 > 62.5 <<
サ. どれもなし	5.1	>	3.0	>	2.2 3.1 >>
シ. わからない、無回答	1.2	>	0.5	<	2.1 2.7 <<

—所有機器 2 (MA) —

第31 B問 では、リスト27の中ではどうでしょうか。同じく、いくつでもお答えください。

	2000	2005	2010年	
ア. MDプレーヤー	20.5	<	39.6	> 32.9% <<
イ. DVDプレーヤー	3.9	<	45.1	< 61.5 <<
ウ. HDD (ハードディスクレコーダー)			11.1	< 34.1 <<
エ. 携帯電話・PHS	70.0	<	79.0	< 85.3 <<
オ. 電子手帳 (PDA)	14.2	16.0	15.8	<<
カ. CSデジタル放送が受信できるテレビ	5.3	<	9.7	< 25.7 <<
キ. 薄型テレビ (液晶・プラズマ)			8.8	< 53.3 <<
ク. デジタルカメラ			43.5	< 63.3 <<
ケ. ビデオカメラ			37.4	39.8 <<
コ. 車載テレビ (カーナビなど)			27.3	< 40.2 <<
サ. ワンセグが見られる機器				32.6 <<
シ. どれもなし	22.1	>	10.8	> 5.4 >>
ス. わからない、無回答	4.0	4.4	3.4	<<

サンプル構成

	全体	性		男						女					
		男	女	16~29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	16~29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上
85年	2,632人	1,211	1,421	257	275	250	216	120	93	301	352	261	243	154	110
	100.0%	46.0	54.0	9.8	10.4	9.5	8.2	4.6	3.5	11.4	13.4	9.9	9.2	5.9	4.2
90年	2,508人	1,108	1,400	239	202	269	178	135	85	264	299	301	233	187	116
	100.0%	44.2	55.8	9.5	8.1	10.7	7.1	5.4	3.4	10.5	11.9	12.0	9.3	7.5	4.6
95年	2,423人	1,131	1,292	220	168	243	201	181	118	246	233	265	251	166	131
	100.0%	46.7	53.3	9.1	6.9	10.0	8.3	7.5	4.9	10.2	9.6	10.9	10.4	6.9	5.4
2000年	3,584人	1,677	1,907	327	231	293	367	262	197	311	318	341	362	317	258
	100.0%	46.8	53.2	9.1	6.4	8.2	10.2	7.3	5.5	8.7	8.9	9.5	10.1	8.8	7.2
2005年	1,920人	909	1,011	134	152	125	188	165	145	125	133	158	217	214	164
	100.0%	47.3	52.7	7.0	7.9	6.5	9.8	8.6	7.6	6.5	6.9	8.2	11.3	11.1	8.5
2010年	1,046人	484	562	63	77	81	73	95	95	63	85	84	97	110	123
	100.0%	46.3	53.7	6.0	7.4	7.7	7.0	9.1	9.1	6.0	8.1	8.0	9.3	10.5	11.8